

第2章 高齢者を取り巻く状況

1. 人口等の現状

(1) 人口の推移

本町の人口は、平成30年の16,399人から令和2年には15,953人となっており、年々減少傾向にあります。

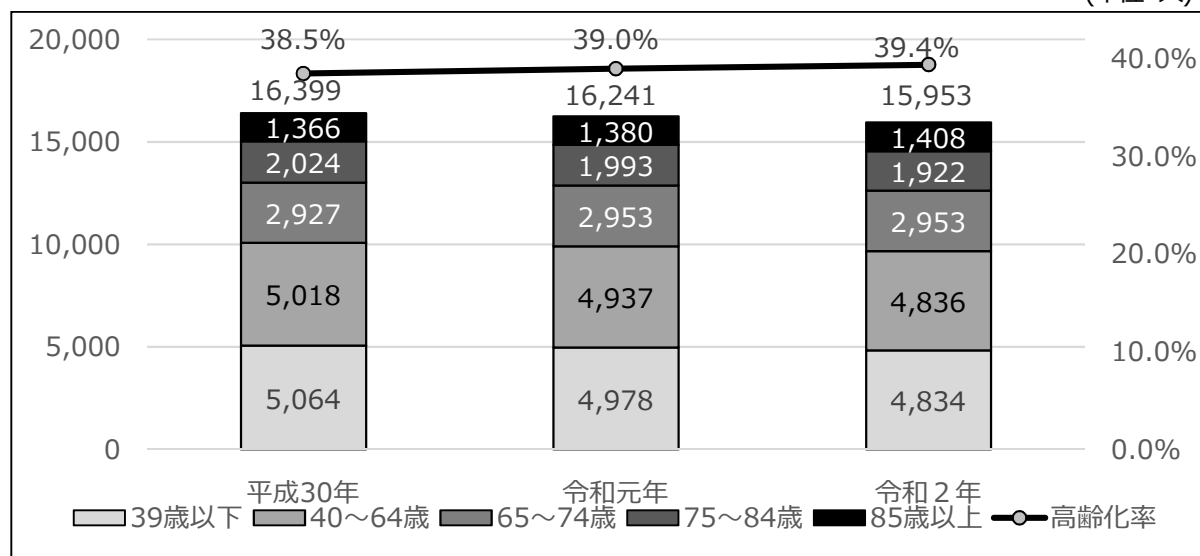
総人口に占める65歳以上の割合（高齢化率）は、平成30年の38.5%から、令和2年には39.4%と増加しています。特に85歳以上の人口が増加しており、超高齢化が進行しつつあります。

(単位 人、%)

区分	平成30年	令和元年	令和2年
総人口	16,399	16,241	15,953
39歳以下	5,064	4,978	4,834
40～64歳 (第2号被保険者)	5,018	4,937	4,836
65歳以上 (第1号被保険者)	6,317	6,326	6,284
65歳～74歳	2,927	2,953	2,953
75歳～84歳	2,024	1,993	1,922
85歳以上	1,366	1,380	1,408
高齢化率	38.5%	39.0%	39.4%

資料 住民基本台帳(各年9月末)

(単位 人)



(2) 要介護（要支援）認定者数の推移

要介護（要支援）認定者数は、平成30年から令和2年にかけて徐々に増加しており、特に要支援1の増加率が大きくなっています。

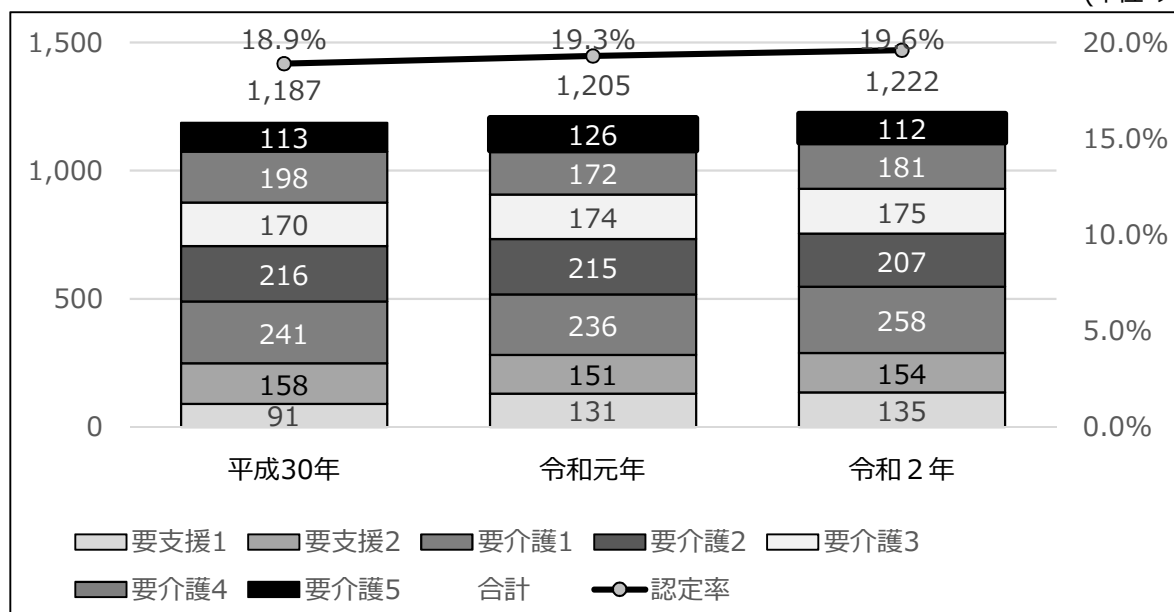
認定率についても、要介護（要支援）認定者数と同様に増加しており、令和2年は19.6%となっています。

(単位 人、%)

	平成30年	令和元年	令和2年
要支援1	91	131	135
要支援2	158	151	154
要介護1	241	236	258
要介護2	216	215	207
要介護3	170	174	175
要介護4	198	172	181
要介護5	113	126	112
合計	1,187	1,205	1,222
第1号被保険者数	6,272	6,252	6,227
認定率	18.9%	19.3%	19.6%

資料 介護保険事業状況報告年報(令和2年は令和2年9月月報)

(単位 人)



2. 介護保険サービスの現状

介護予防給付サービスでは、要支援認定者の増加に伴い、「訪問看護サービス」「訪問リハビリテーション」「通所リハビリテーション」といった介護予防サービスが増加傾向にあります。

一方、介護給付サービスでは、居宅サービスが年々減少している一方で、施設サービスが増加傾向にあります。

(1) 介護予防給付サービス

(単位 給付費 千円、回数：回、日数：日、人数：人)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
(1) 介護予防サービス				
介護予防訪問入浴介護	給付費	0	0	0
	回数	0.0	0.0	0.0
	人数	0	0	0
介護予防訪問看護	給付費	1,596	1,822	1,398
	回数	23.3	33.5	21.4
	人数	5	5	4
介護予防訪問リハビリテーション	給付費	1,360	2,084	3,884
	回数	40.5	60.5	109.9
	人数	5	7	13
介護予防居宅療養管理指導	給付費	558	359	320
	人数	7	4	3
介護予防通所リハビリテーション	給付費	29,722	32,510	32,962
	人数	74	81	83
介護予防短期入所生活介護	給付費	319	35	0
	日数	4.5	0.5	0.0
	人数	0	0	0
介護予防短期入所療養介護（老健）	給付費	118	115	0
	日数	1.4	1.6	0.0
	人数	0	0	0
介護予防短期入所療養介護（病院等）	給付費	0	0	0
	日数	0.0	0.0	0.0
	人数	0	0	0
介護予防短期入所療養介護(介護医療院)	給付費	0	0	0
	日数	0.0	0.0	0.0
	人数	0	0	0

			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	介護予防福祉用具貸与	給付費	2,216	2,421	3,327
		人数	44	48	53
	特定介護予防福祉用具購入費	給付費	305	477	1,001
		人数	1	2	3
	介護予防住宅改修	給付費	962	1,434	3,126
		人数	2	3	3
	介護予防特定施設入居者生活介護	給付費	3,700	3,319	4,130
		人数	5	4	5
(2) 地域密着型介護予防サービス					
	介護予防認知症対応型通所介護	給付費	2,804	3,201	1,508
		回数	27.3	31.2	14.5
		人数	4	5	3
	介護予防小規模多機能型居宅介護	給付費	3,233	2,682	2,018
		人数	4	4	3
	介護予防認知症対応型共同生活介護	給付費	1,814	0	0
		人数	1	0	0
	(3) 介護予防支援		給付費	5,764	6,236
		人数	108	116	121

※給付費は年間累計の金額、回（日）数は1月当たりの数、人数は1月当たりの利用者数。

(2) 介護給付サービス

		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
(1) 居宅サービス				
	訪問介護	給付費	46,945	44,563
		回数	1,417.0	1,331.2
		人数	93	85
	訪問入浴介護	給付費	4,164	3,956
		回数	28	26
		人数	5	4
	訪問看護	給付費	14,043	14,024
		回数	200.7	186.8
		人数	36	35

		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
	訪問リハビリテーション	給付費	11,647	12,689
		回数	345.4	371.8
		人数	28	29
	居宅療養管理指導	給付費	2,466	2,847
		人数	36	38
	通所介護	給付費	205,939	195,424
		回数	2,270	2,182
		人数	182	173
	通所リハビリテーション	給付費	142,404	146,742
		回数	1,578.3	1,610.9
		人数	175	170
	短期入所生活介護	給付費	59,941	53,101
		日数	656.2	583.3
		人数	44	39
	短期入所療養介護（老健）	給付費	24,059	22,829
		日数	194.0	184.2
		人数	21	19
	短期入所療養介護（病院等）	給付費	0	0
		日数	0.0	0.0
		人数	0	0
	短期入所療養介護(介護医療院)	給付費	0	0
		日数	0.0	0.0
		人数	0	0
	福祉用具貸与	給付費	26,989	28,232
		人数	213	216
	特定福祉用具購入費	給付費	965	1,006
		人数	4	4
	住宅改修費	給付費	1,973	1,960
		人数	3	3
	特定施設入居者生活介護	給付費	31,379	30,354
		人数	15	15

(2) 地域密着型サービス		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	給付費	7,176	7,188	3,959
	人数	3	3	2
夜間対応型訪問介護	給付費	0	0	0
	人数	0	0	0
地域密着型通所介護	給付費	41,380	44,252	47,418
	回数	451.2	474.3	527.9
	人数	40	41	45
認知症対応型通所介護	給付費	26,563	20,482	16,790
	回数	225.1	171.9	136.0
	人数	18	13	10
小規模多機能型居宅介護	給付費	66,563	57,267	54,403
	人数	32	29	26
認知症対応型共同生活介護	給付費	107,217	108,220	108,512
	人数	37	37	36
地域密着型特定施設入居者生活介護	給付費	0	0	0
	人数	0	0	0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	給付費	49,990	48,227	38,162
	人数	16	15	15
看護小規模多機能型居宅介護	給付費	0	0	0
	人数	0	0	0
(3) 施設サービス				
介護老人福祉施設	給付費	348,225	366,909	381,707
	人数	110	114	115
介護老人保健施設	給付費	602,856	592,414	582,341
	人数	185	181	176
介護医療院	給付費	4,796	19,053	36,170
	人数	2	4	9
介護療養型医療施設	給付費	1,513	972	4,069
	人数	0	0	1
(4) 居宅介護支援				
	給付費	76,532	74,225	76,534
	人数	452	440	444

3. アンケート調査から見た現状

要介護状態になる前の高齢者について、地域の抱える課題を特定することを目的とした「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」と「要介護者の在宅生活の継続」や「介護者の就労継続」に有効な介護サービスのあり方を検討するための「在宅介護実態調査」を実施しました。

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

I 調査の概要

1 調査対象

町内にお住まいで要介護認定(要介護1～5)を受けていない65歳以上の方を対象として、無作為抽出した1,000人の方

2 調査方法

郵送配布・郵送回収

3 調査期間

令和元年12月

4 回収状況

回収	733人
回収率	73.3%

5 回答者の年齢構成

	男性	女性	全体
65～69歳	104	93	197
70～74歳	108	92	200
75～79歳	57	67	124
80～84歳	40	73	113
85～89歳	31	40	71
90～94歳	9	17	26
95～99歳	2	0	2
100歳以上	0	0	0
合計	351	382	733

II 調査の結果

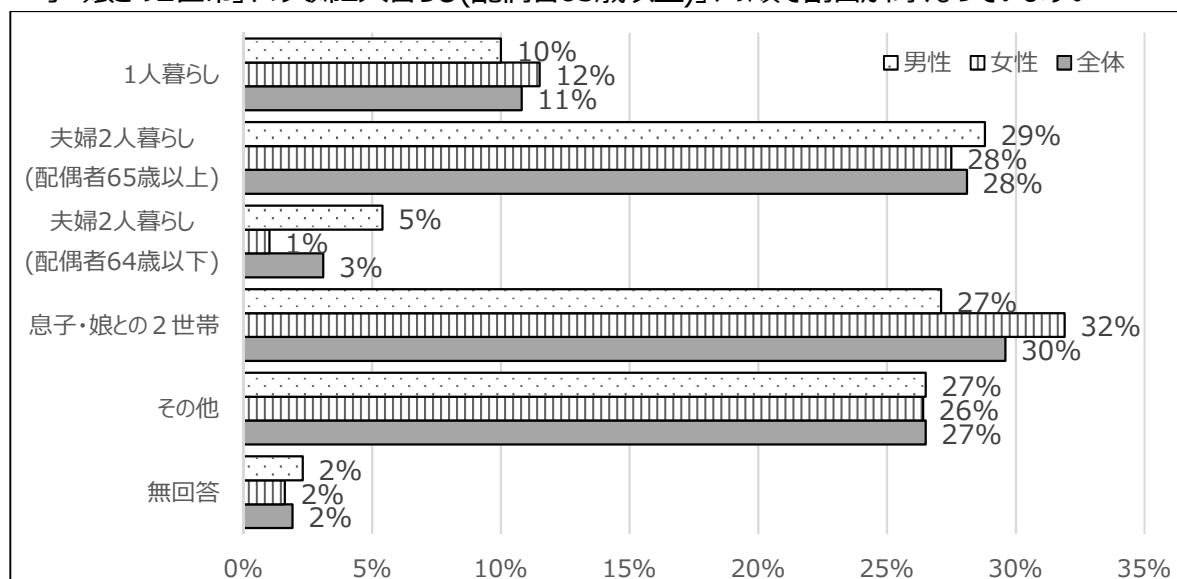
1 家族や生活状況

(1) 家族構成

■設問1 (1) 家族構成を教えてください。

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」28%、「息子・娘との2世帯」30%、「その他」27%が上位を占めています。

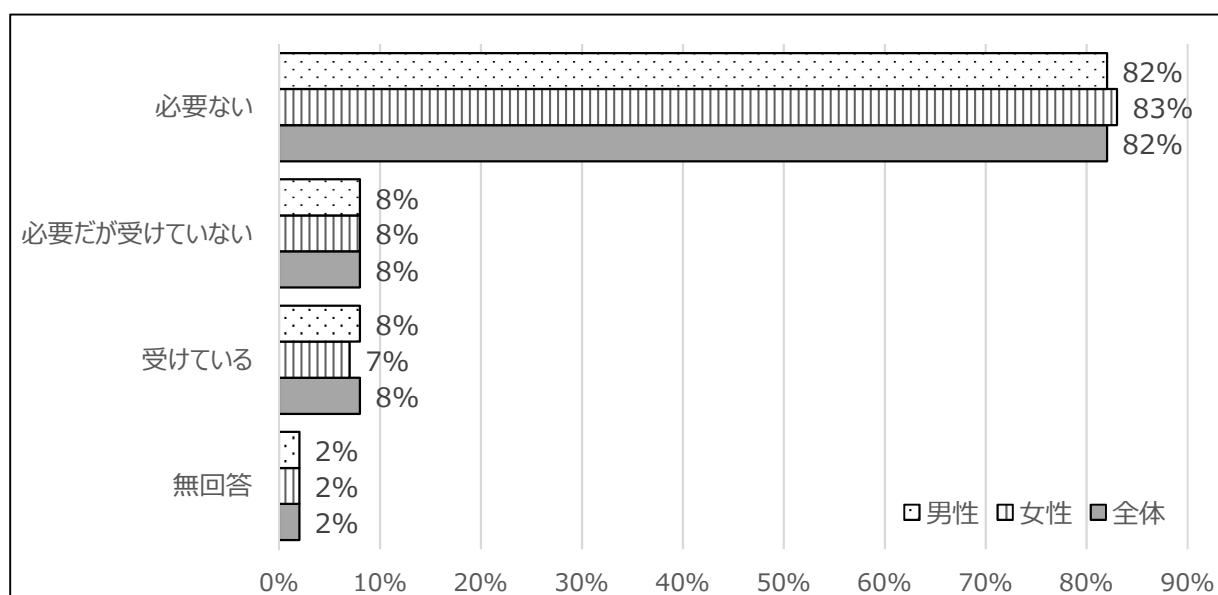
男女で比較すると、男性は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」、「その他」の順で、女性は、「息子・娘との2世帯」、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の順で割合が高くなっています。



(2) 介護・介助の必要性

■設問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか？

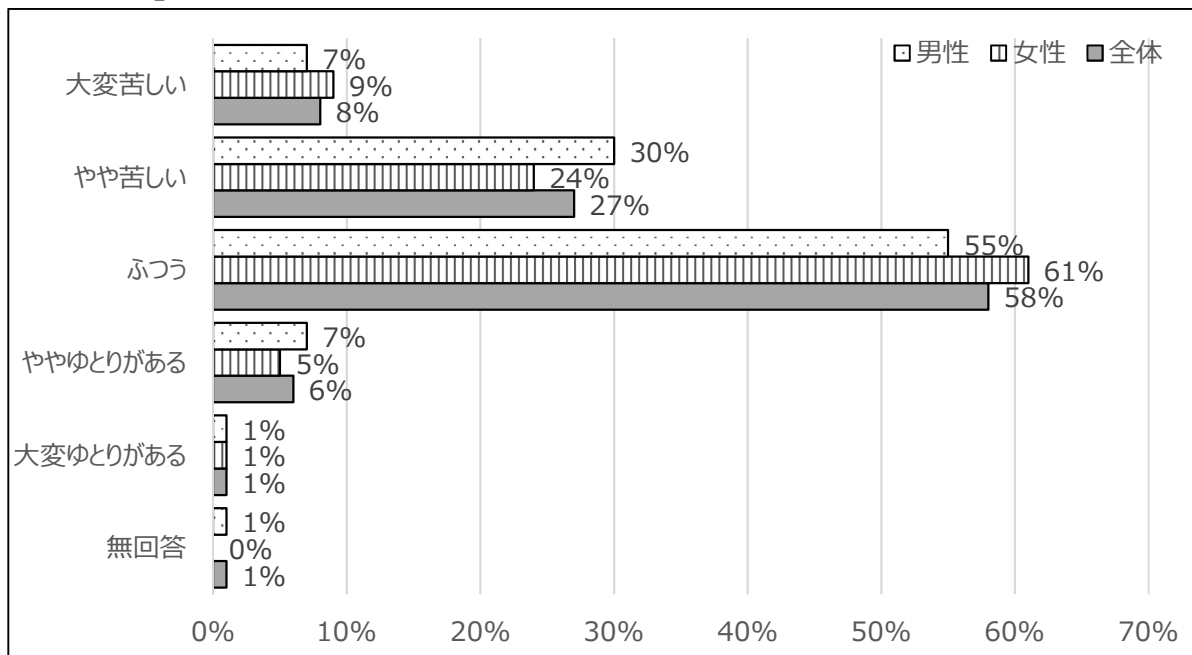
介護・介助の必要性については、「介護・介助が必要ない」が全体の82%を占めており、前回調査と比べ5%の増となっています。「何らかの介護・介助は必要だが、受けていない」が8%、「現在何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合を含む)」が8%となっています。



(3) 暮らし向き

■設問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にどう感じていますか？

暮らし向きについては、「大変苦しい」8%、「やや苦しい」27%をあわせると、全体で35%の方が「苦しい」と回答しました。

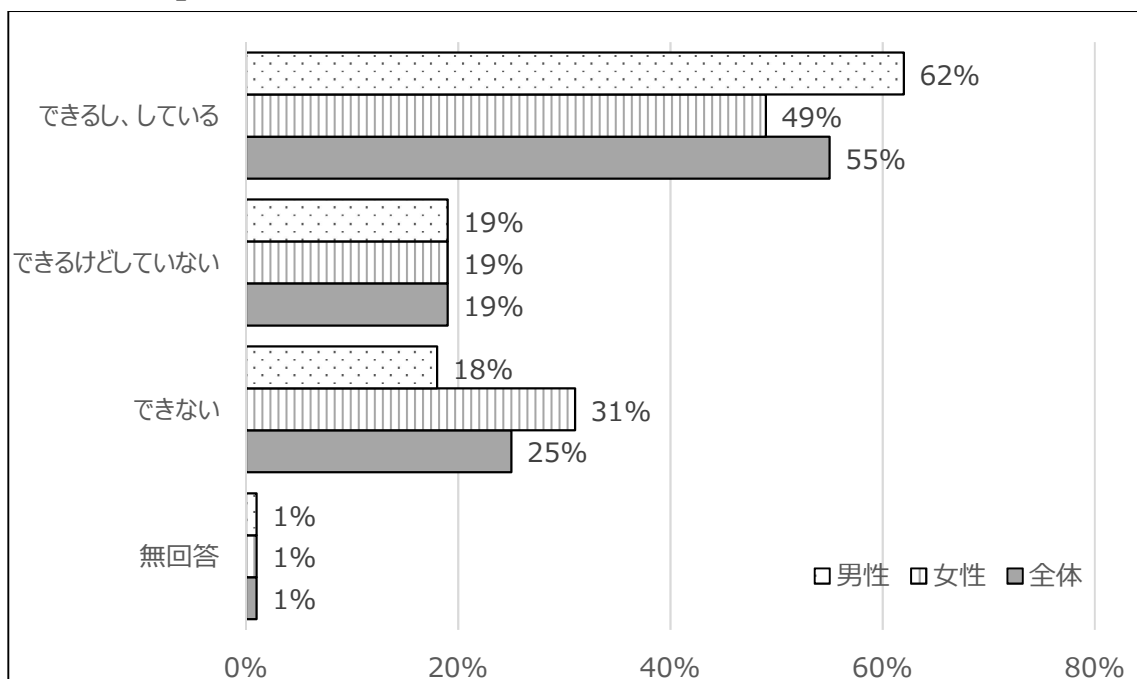


2. からだを動かすことについて

(1) 運動の状況

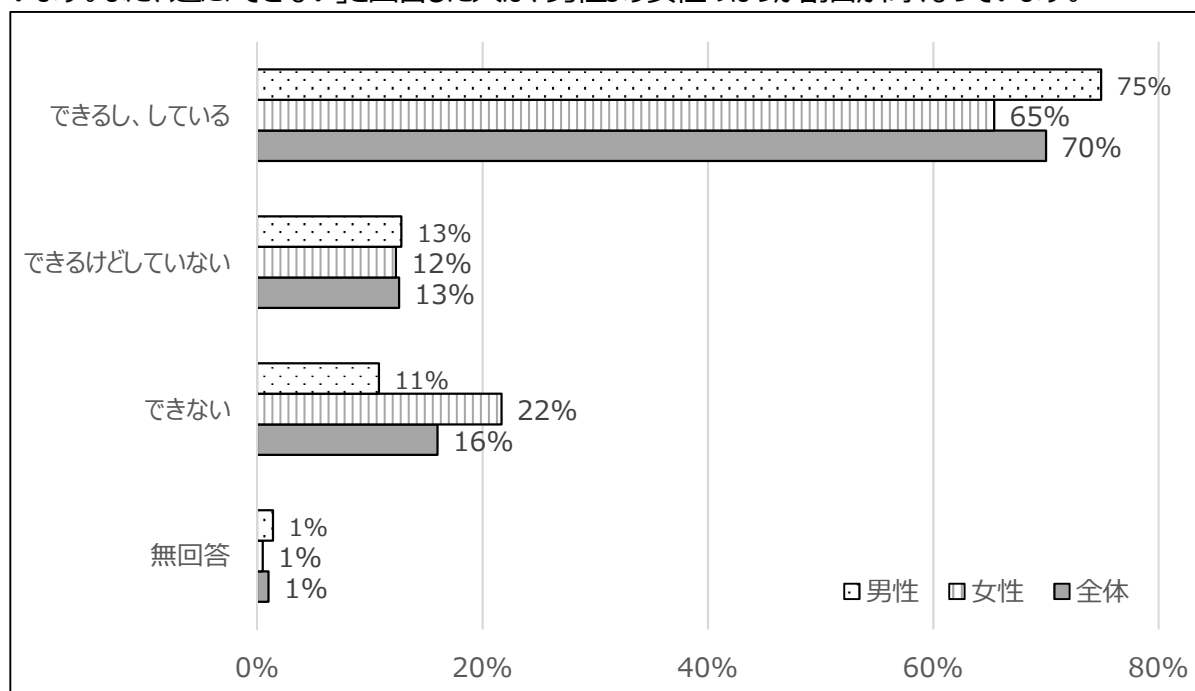
■設問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか？

階段の昇りについては、全体で「できるし、している」と回答した人が55%を占めています。男女で比較すると、「できるし、している」と回答した人は、女性より男性のほうの割合が高くなっています。また、逆に「できない」と回答した人は、男性より女性のほうの割合が高くなっています。



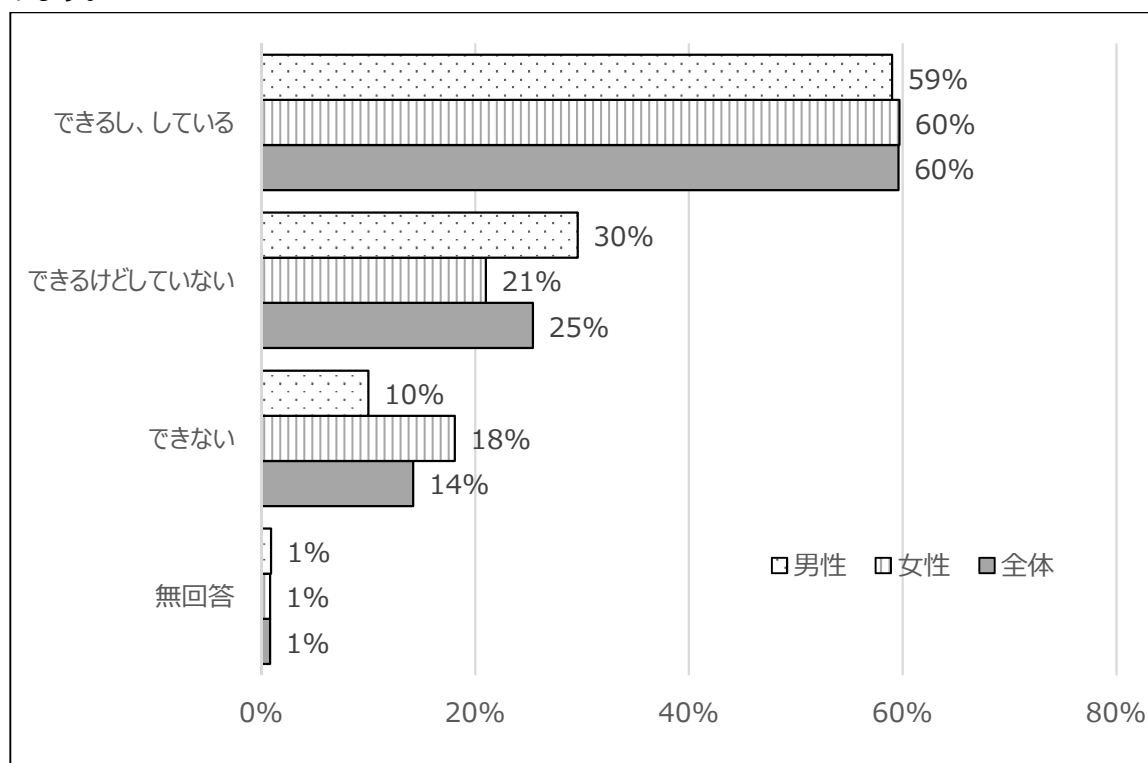
■設問２（２） 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか？

椅子からの立ち上がりについては、全体で「できるし、している」と回答した人が7割以上を占めています。男女で比較すると、「できるし、している」と回答した人は、女性より男性のほうが割合が高くなっています。また、逆に「できない」と回答した人は、男性より女性のほうが割合が高くなっています。



■設問２（３） 15分位続けて歩いていますか？

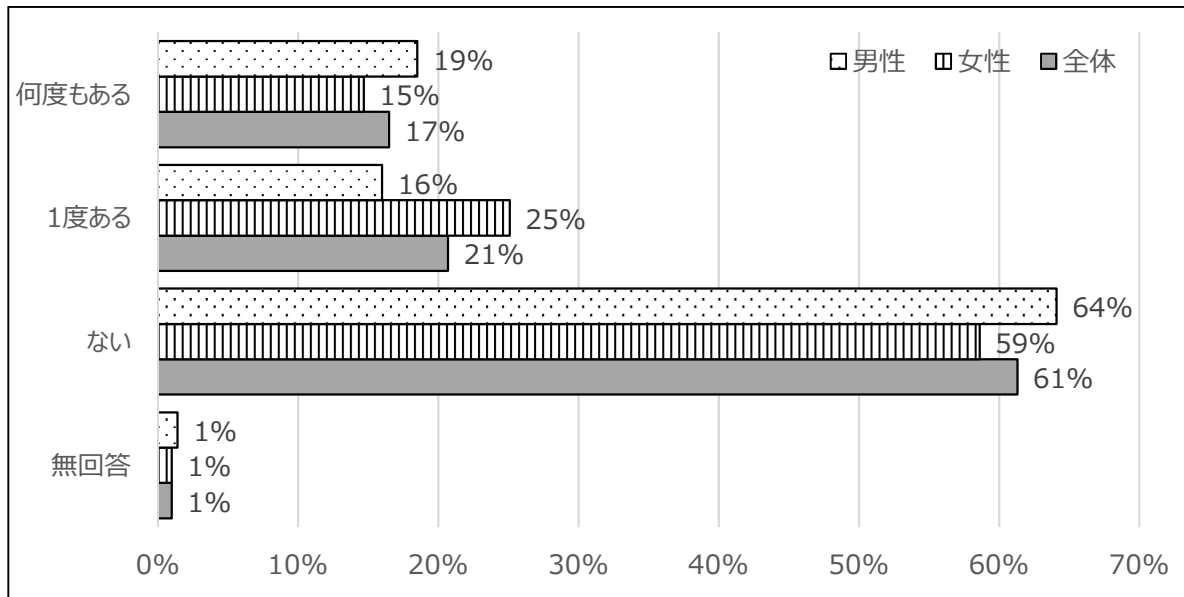
15分間歩行については、全体で「できるし、している」と回答した人が60%を占めています。また、逆に「できるけどしていない」「できない」と回答した人は、男性より女性のほうが割合が高くなっています。



(2) 転倒の状況

■設問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか？

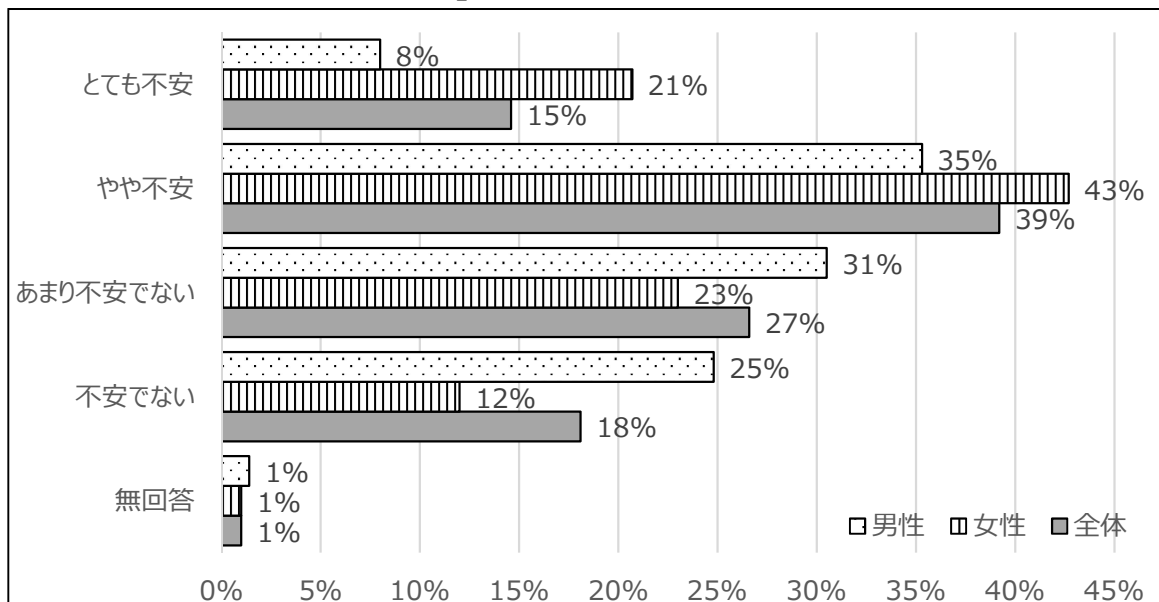
転倒の経験については、全体で「ない」と回答した人が61%でした。男性の方が「ない」と回答した率が女性より高いですが、「何度もある」と回答した率も女性より高く19%でした。



■設問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか？

転倒の不安については、「とても不安」15%、「やや不安」39%を合わせると54%が「不安」と回答しました。

男女で比較すると、「とても不安」と回答した男性8%に対し、女性は21%と高くなっています。

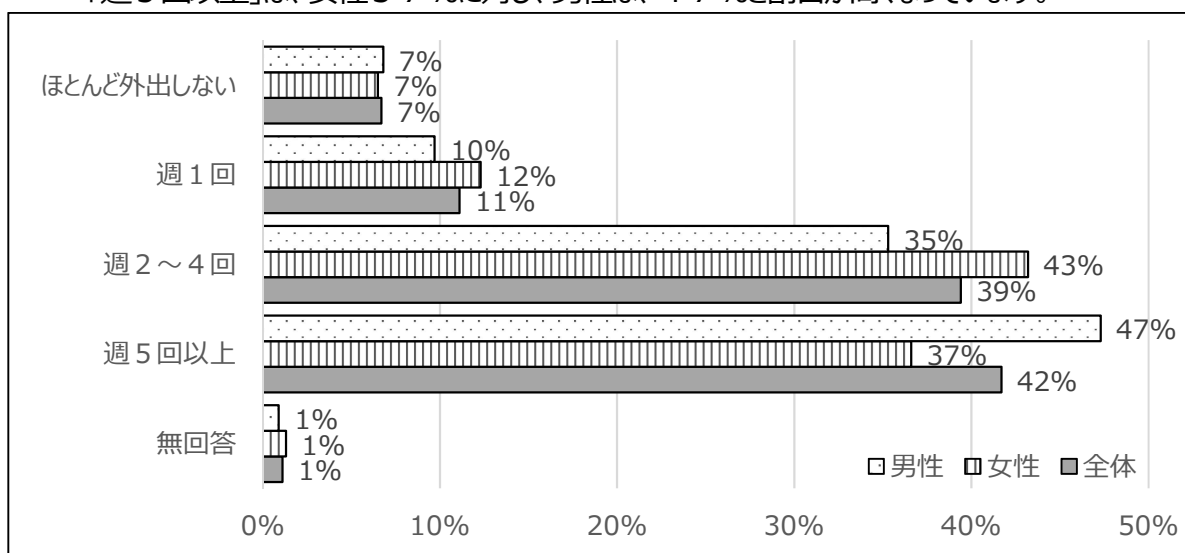


(3) 外出の状況

■設問2 (6) 週に一回以上は外出していますか？

外出（頻度）については、全体で「ほとんど外出しない」は7%で、週1回以上（「週1回」、「週2～4回」、「週5回以上」）外出している人は、92%となっています。

「週5回以上」は、女性37%に対し、男性は、47%と割合が高くなっています。

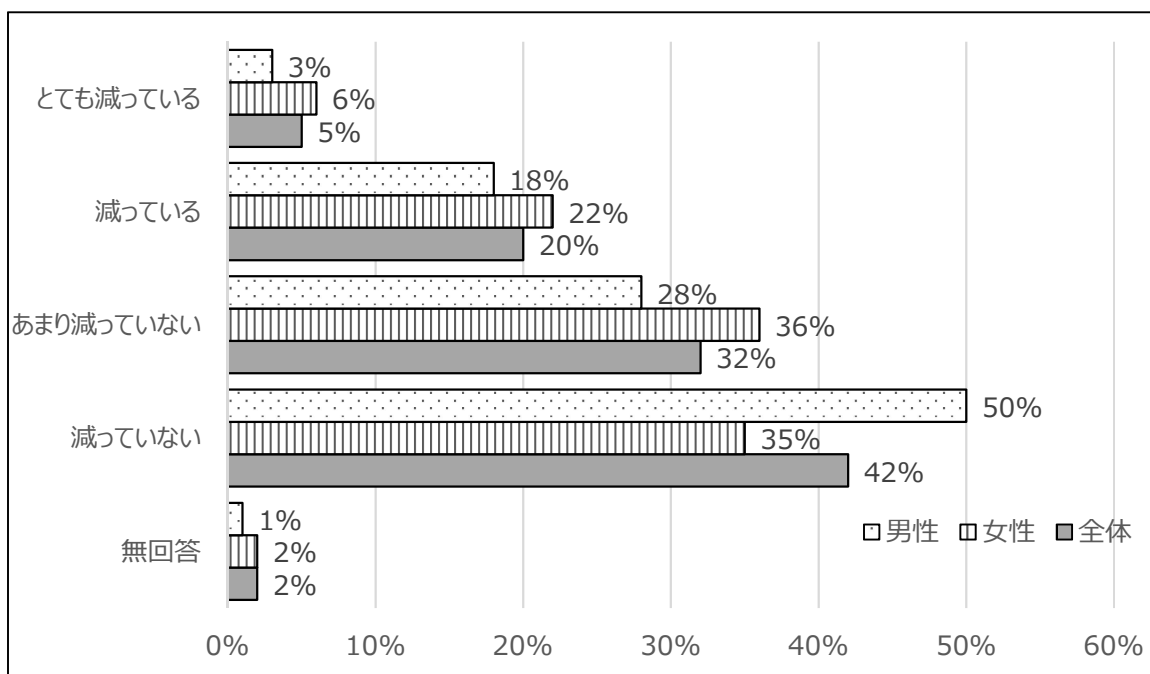


(3) 外出の状況

■設問2(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか？

外出については、全体で「とても減っている」と「減っている」を合わせると、25%の人が「昨年より減っている」と回答しました。

男女で比較すると、「昨年より減っている」男性21%（3%+18%）に対し、女性は28%（6%+22%）と割合が高くなっています。

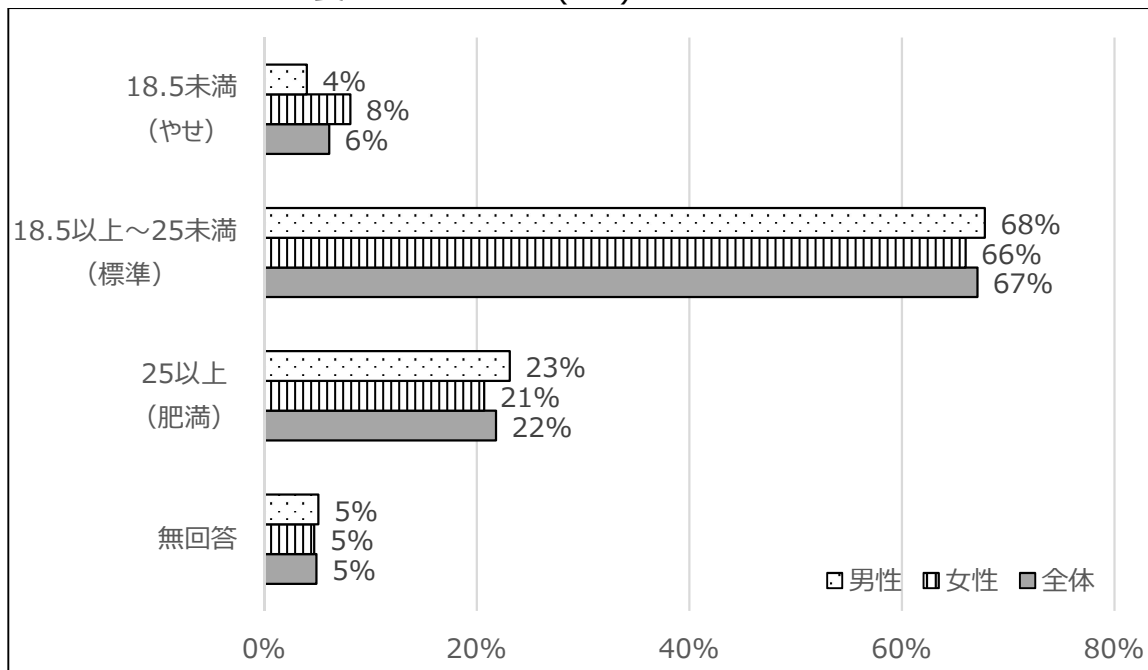


3. 食べることについて

(1) 身長・体重

■設問3 (1) 身長・体重

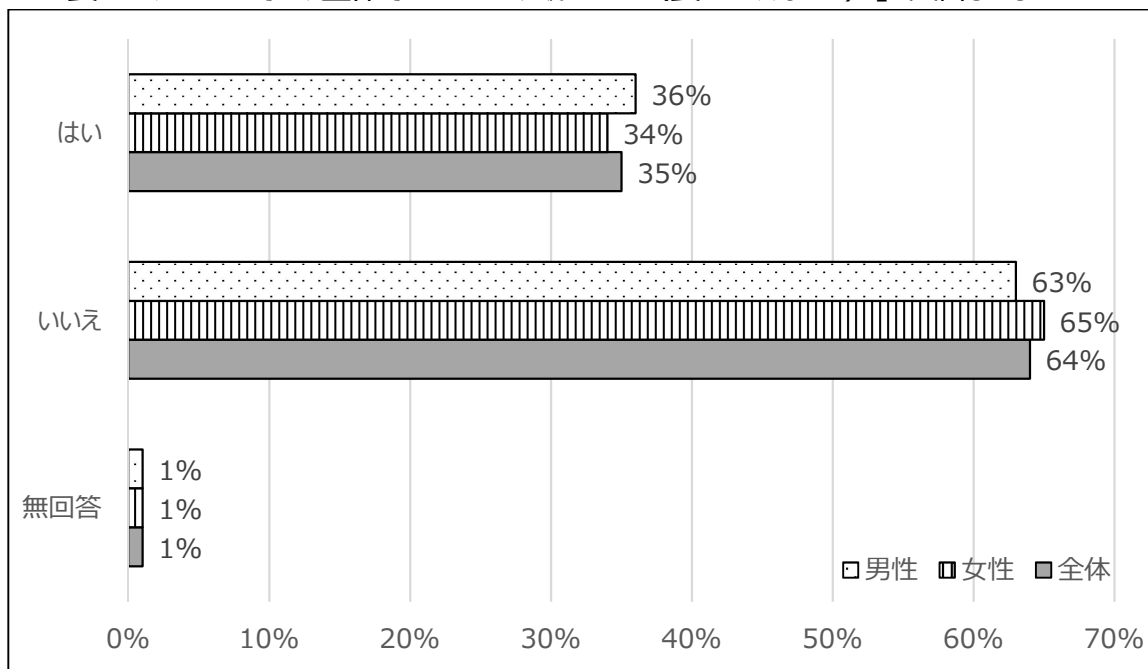
身長と体重から算出したBMIをみると、全体では、67%の人が標準ですが、22%の人が肥満となっています。また、低栄養の可能性のある人(やせ)は6%となっています。



(2) 口腔

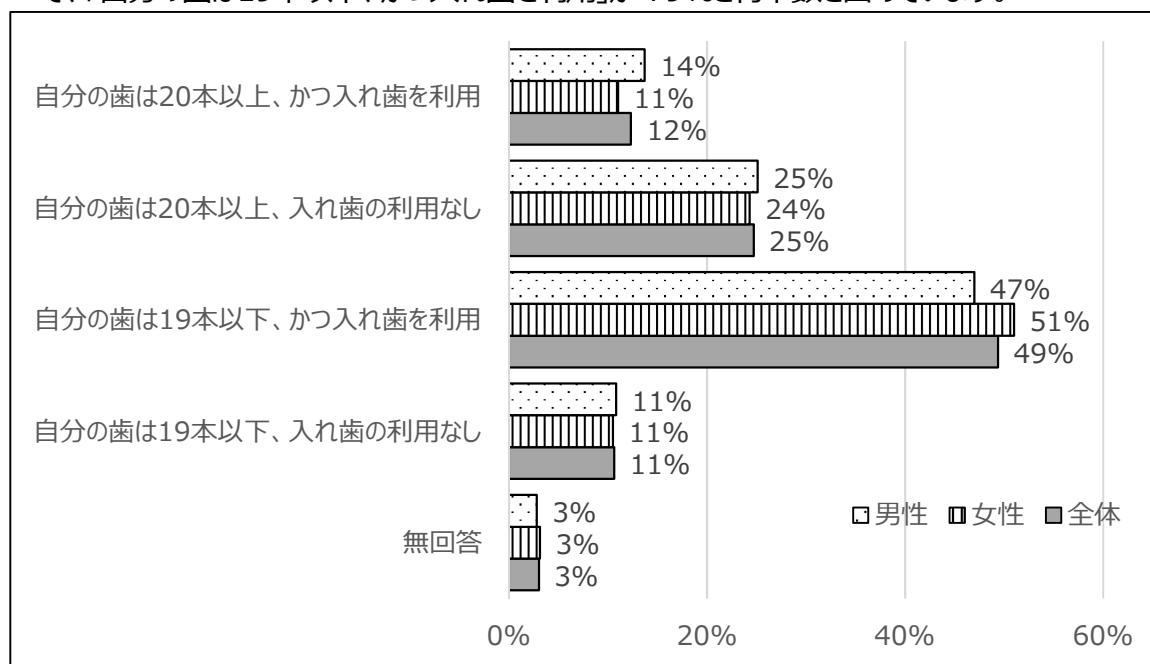
■設問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか？

食べにくさについては、全体で35%の人が「はい（食べにくくなった）」と回答しました。



■設問3（3） 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

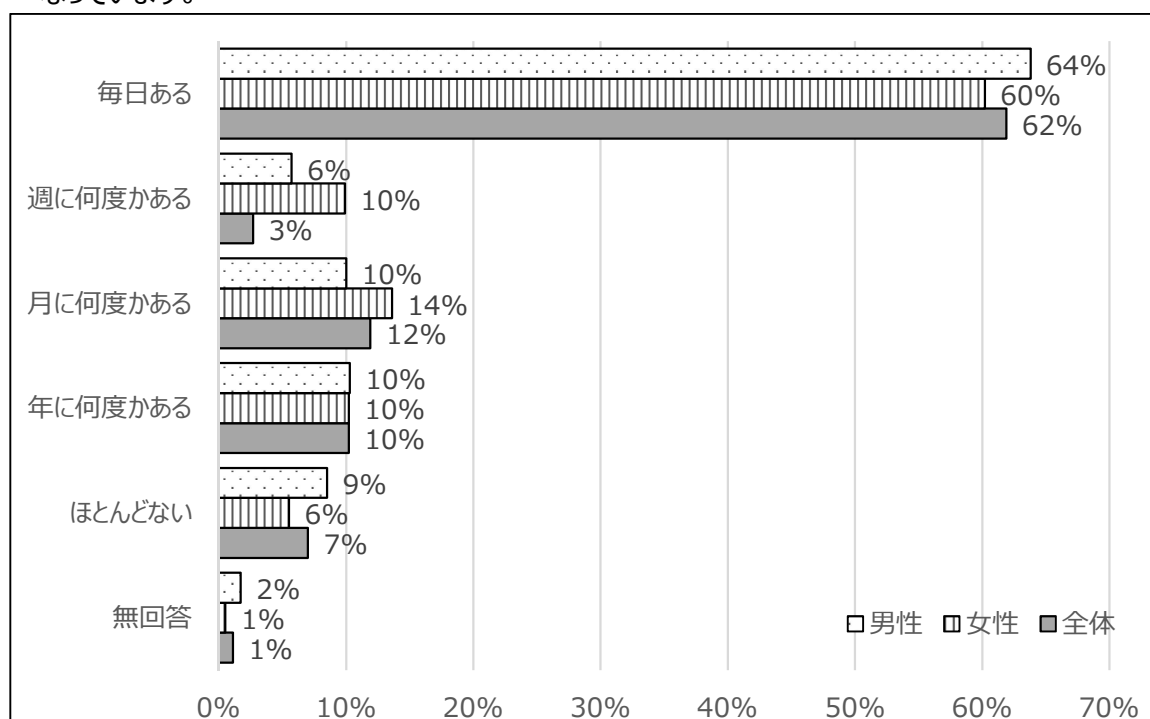
歯の数と入れ歯の利用状況については、全体で「入れ歯の利用者」は61%（49%+12%）で、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が49%と約半数を占めています。



（3）食事の機会

■設問3（4） どなたかと食事をとる機会がありますか？

食事の機会については、「ほとんどない」と回答した人は、全体で7%となっています。また、女性6%に対し、男性9%と男性の方の割合が高くなっています。「毎日ある」と回答した人は、全体で62%となっています。

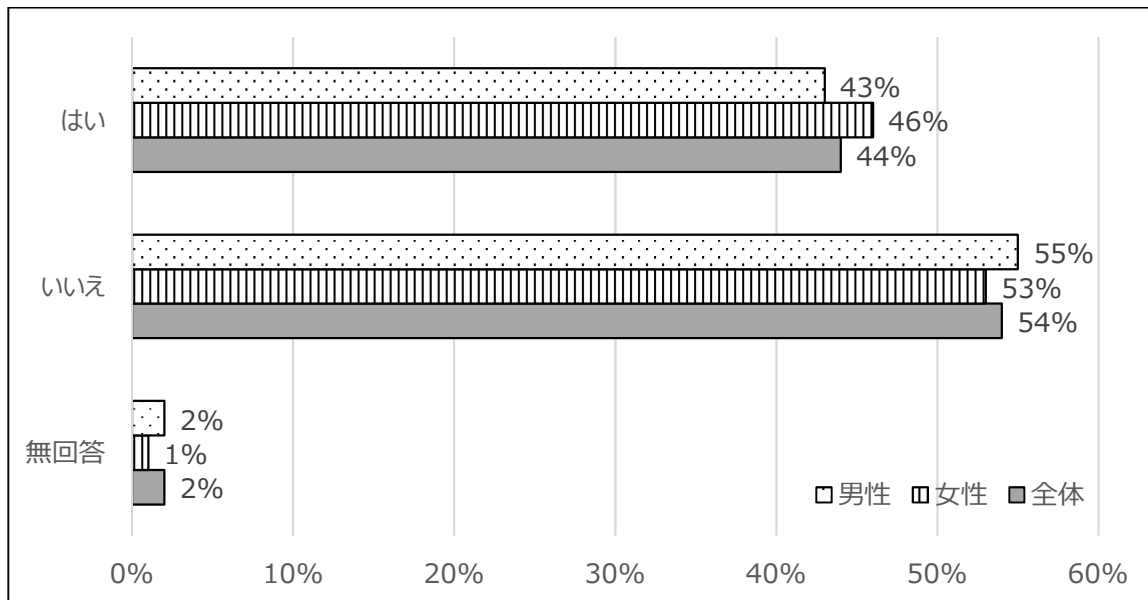


4. 毎日の生活について

(1) 物忘れ

■設問4 (1) 物忘れが多いと感じますか？

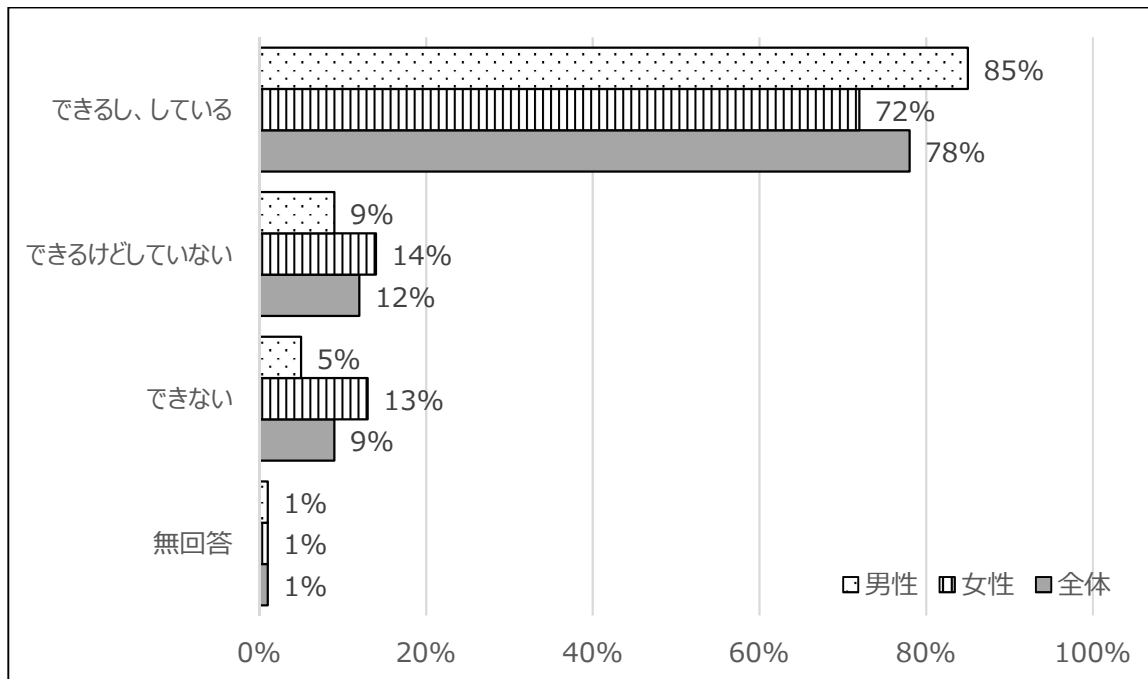
物忘れについては、全体で「はい」と回答した人が44%、「いいえ」と回答した人は54%となっています。男女で比較すると「はい」と回答した人は、男性43%に対し、女性は46%と、女性のほうが少し高くなっています。



(2) IADL (手段的日常生活動作) の自立度

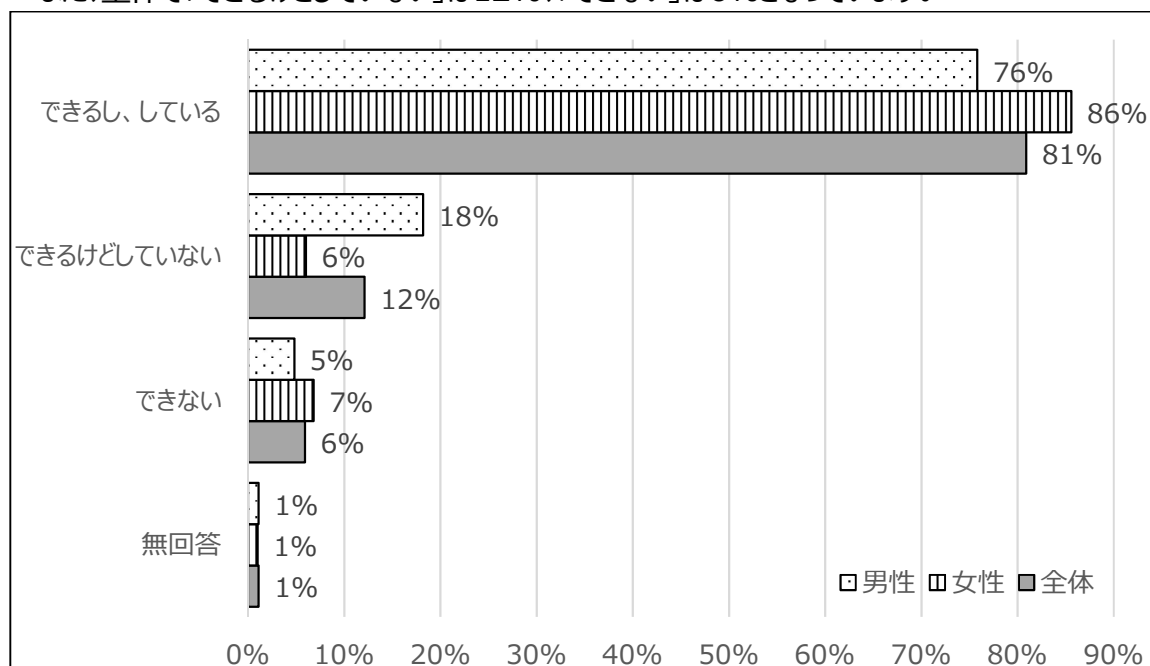
■設問4 (2) バスや電車を使って1人で外出していますか？ (自家用車でも可)

バスや電車利用については、全体で78%の人が、「できるし、している」と回答しました。また、全体で「できるけどしていない」は12%、「できない」は9%となっています。



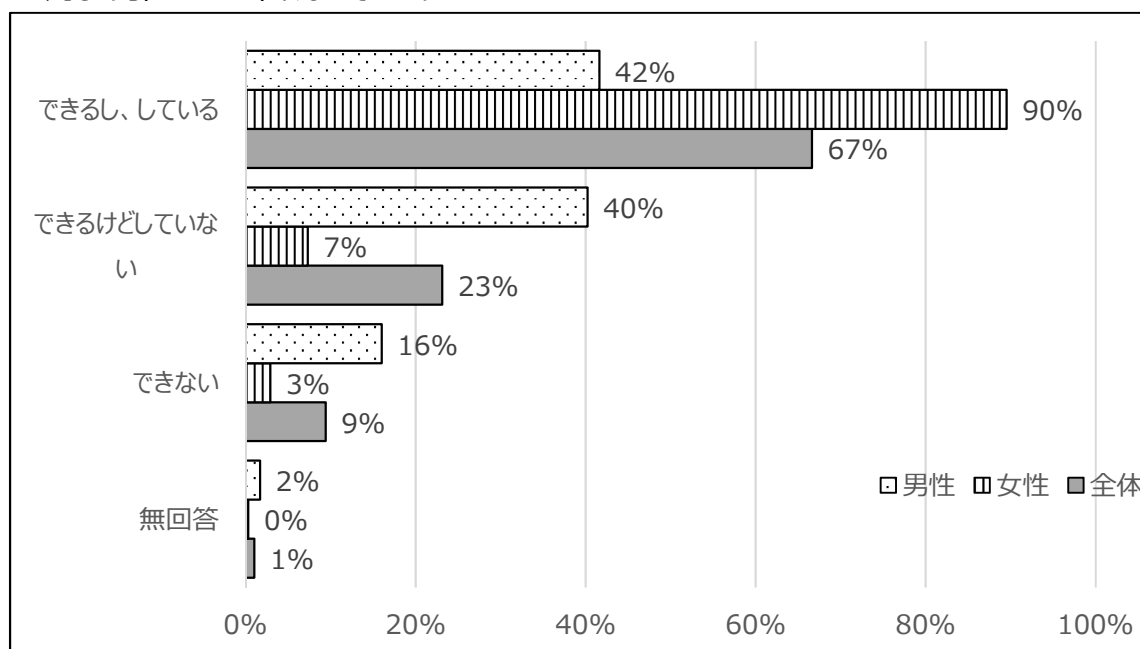
■設問4（3） 自分で食品・日用品の買物をしていますか？

食品、日用品の買い物については、全体で81%の人が、「できるし、している」と回答しました。
また、全体で「できるけどしていない」は12%、「できない」は6%となっています。



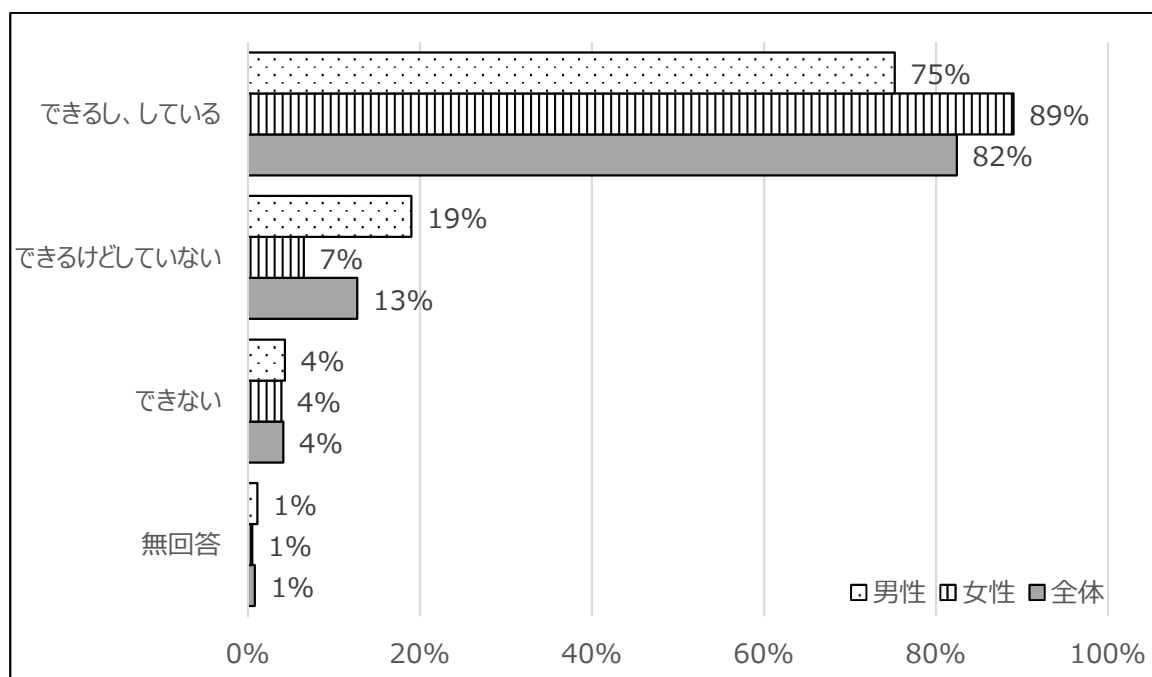
■設問4（4） 自分で食事の用意をしていますか？

食事の用意については、全体で67%の人が、「できるし、している」と回答しましたが、女性90%に対し、男性42%と低くなっています。



■設問4（5） 自分で請求書の支払いをしていますか？

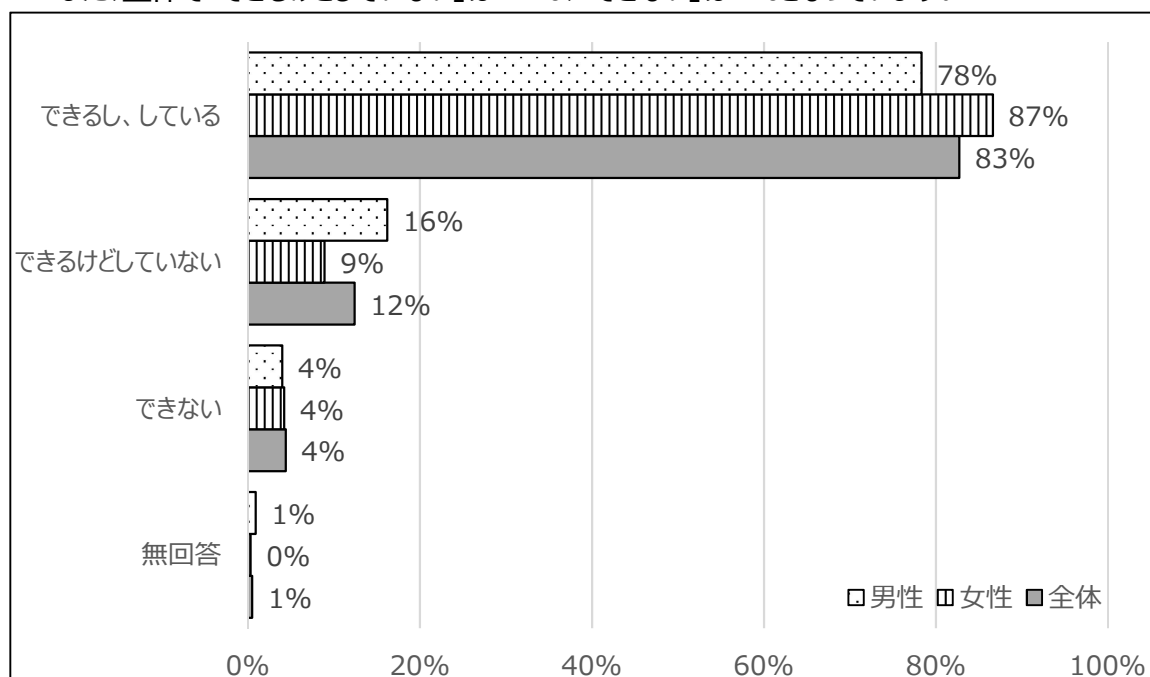
請求書の支払いについては、全体で82%の人が、「できるし、している」と回答しました。
また、全体で「できるけどしていない」は13%、「できない」は4%となっています。



■設問4（6） 自分で預貯金の出し入れをしていますか？

預貯金の出し入れについては、全体で83%の人が、「できるし、している」と回答しました。

また、全体で「できるけどしていない」は12%、「できない」は4%となっています。



5. 地域での活動について

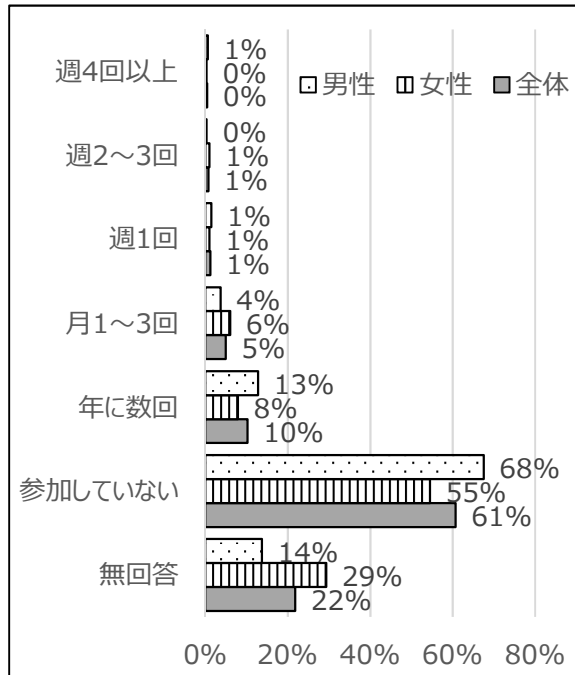
（1）地域での活動について

■設問5（1） 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか※① - ⑧

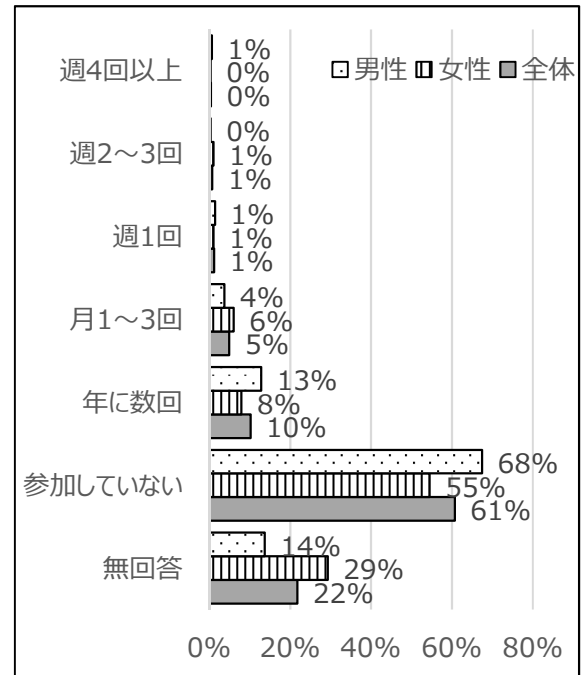
それぞれに回答してください

各項目 6 割から7割の人が「参加していない」と回答しましたが、収入のある仕事については、週1回以上働いている人の割合が25%となっています。

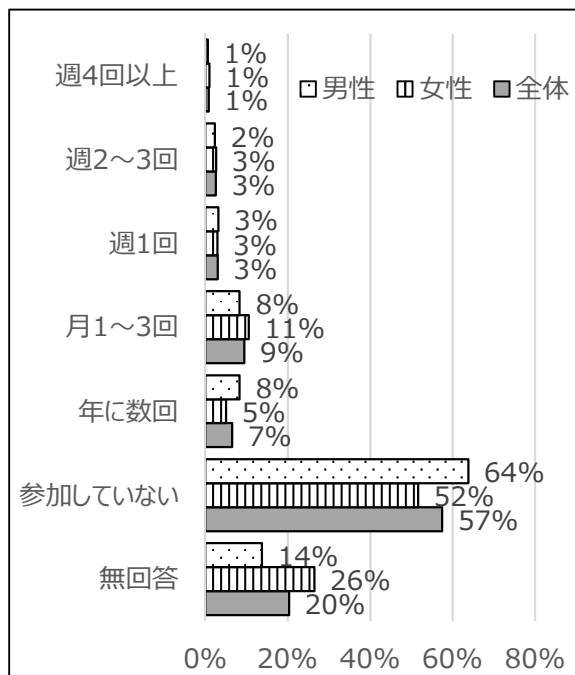
①ボランティアのグループ



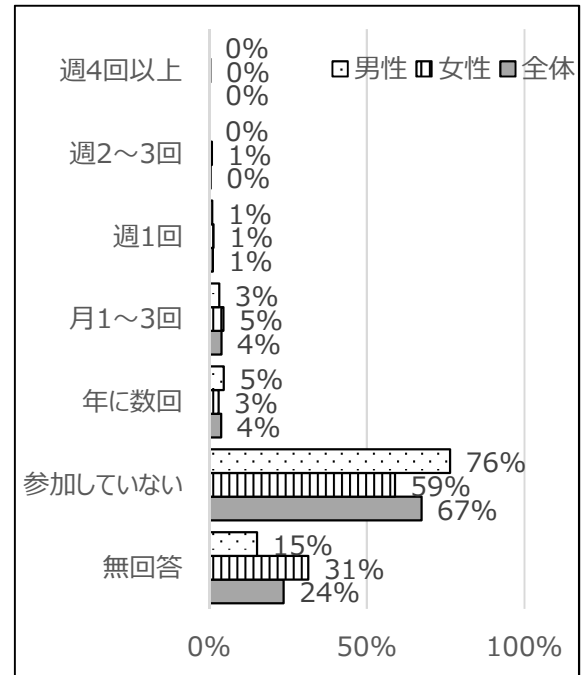
②スポーツ関係のグループやクラブ



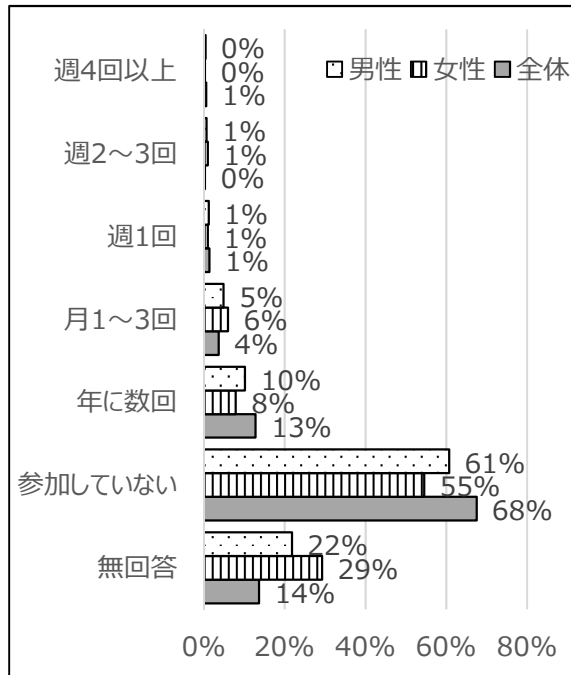
③趣味関係のグループ



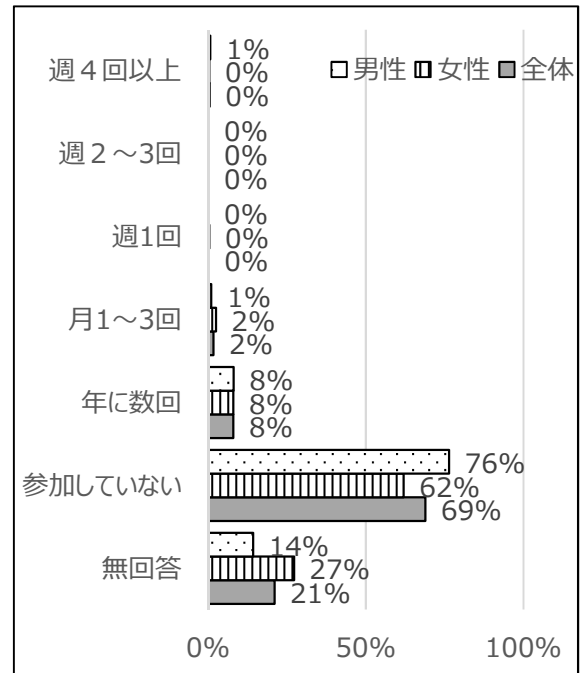
④学習・教育サークル



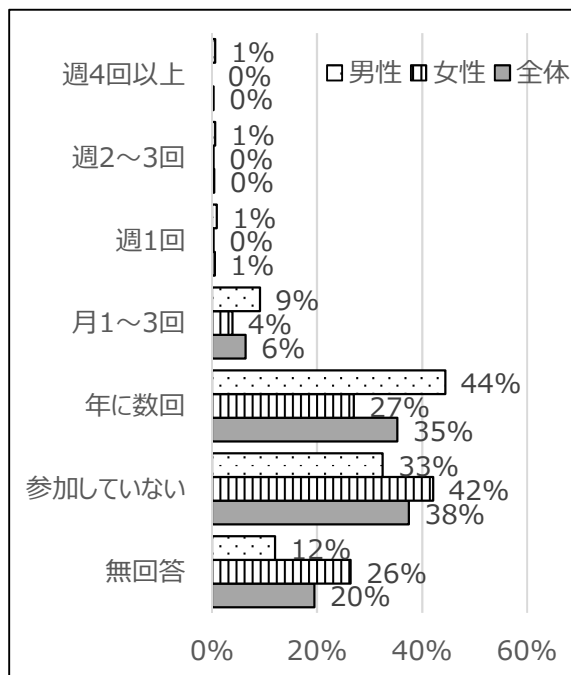
⑤介護予防のための通いの場



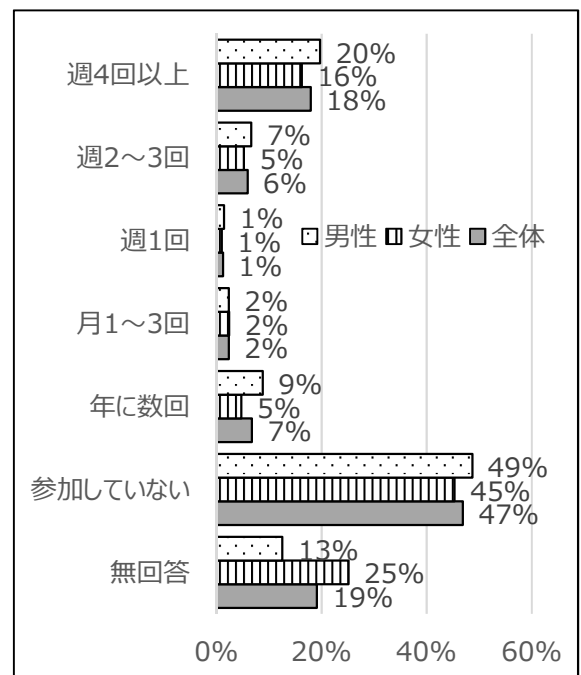
⑥老人クラブ



⑦町内会・自治会



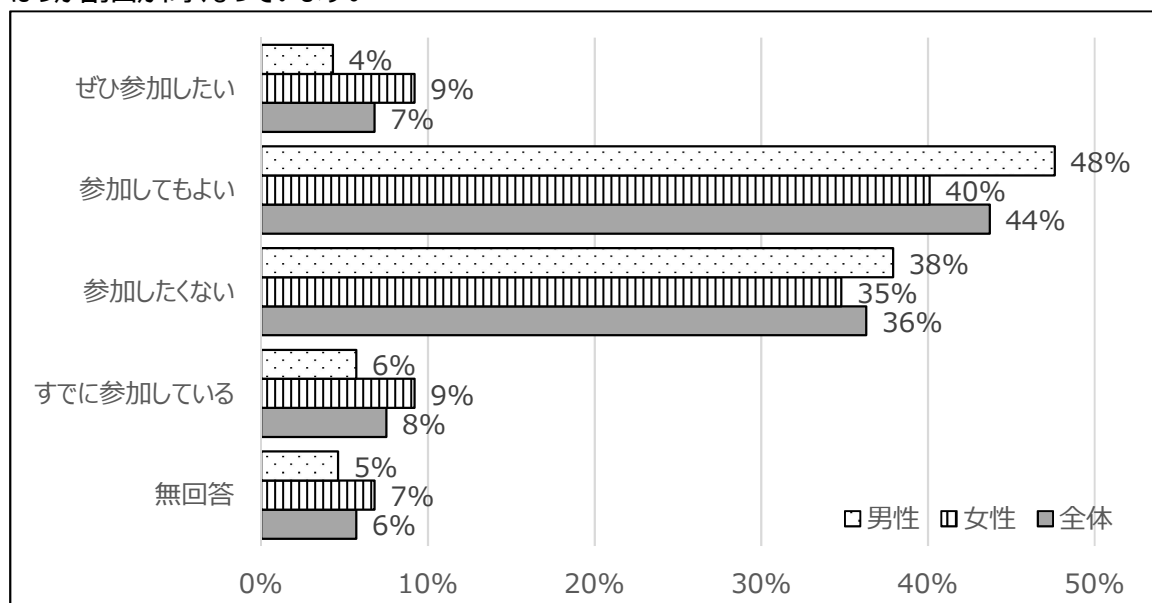
⑧収入のある仕事



■設問5（2） 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか？

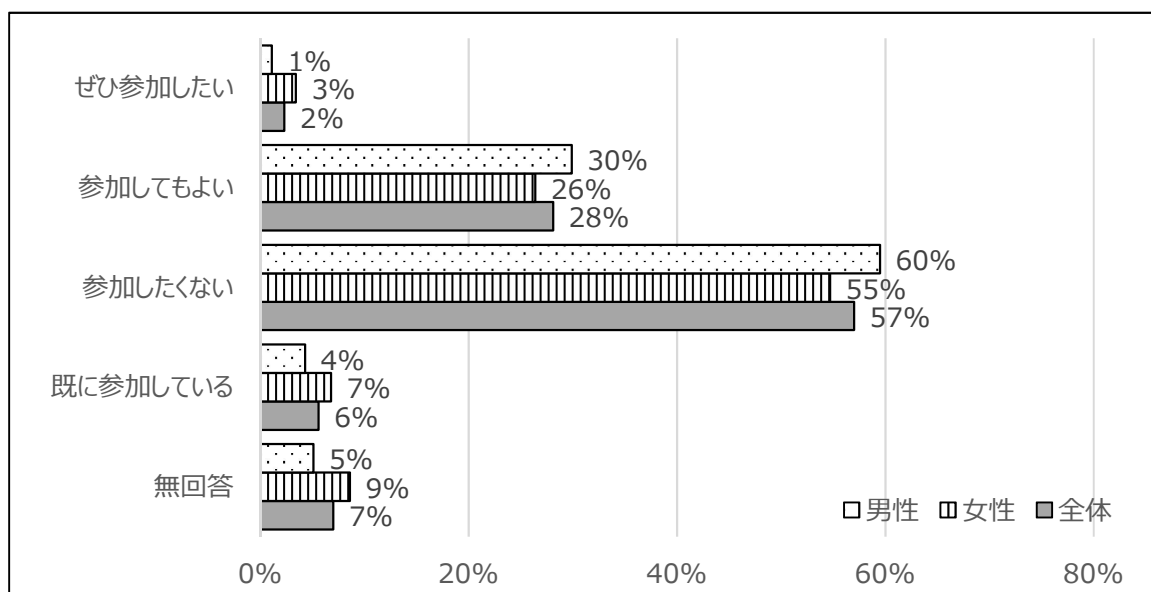
参加者として参加について、全体で、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」を合わせると51%(7%+44%)の人が「参加したい」と回答しました。

男女で比較すると、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」が女性49%に対し、男性52%、と男性のほうが割合が高くなっています。



■設問5（3） 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか？

企画・運営(お世話役)として参加について、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」を合わせると30%(2%+28%)で、設問5(2)の「参加者としての参加」と比較しても低くなっています。男女で比較すると、「参加してもよい」女性26%に対し、男性30%と男性の方が割合が高くなっています。

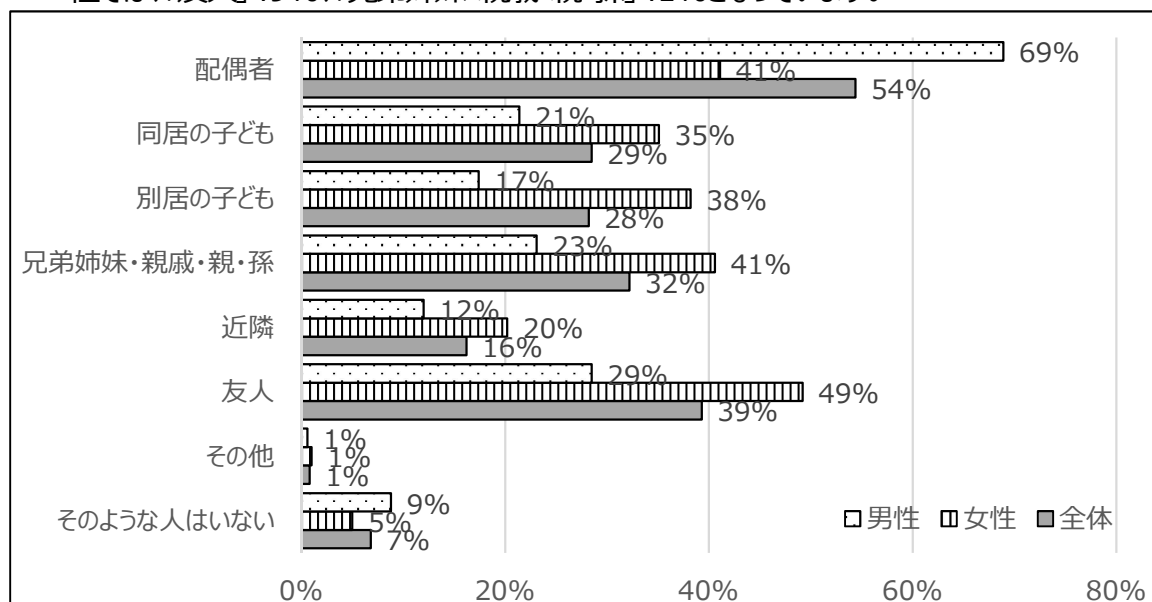


6. たすけあいについて

(1) 相談

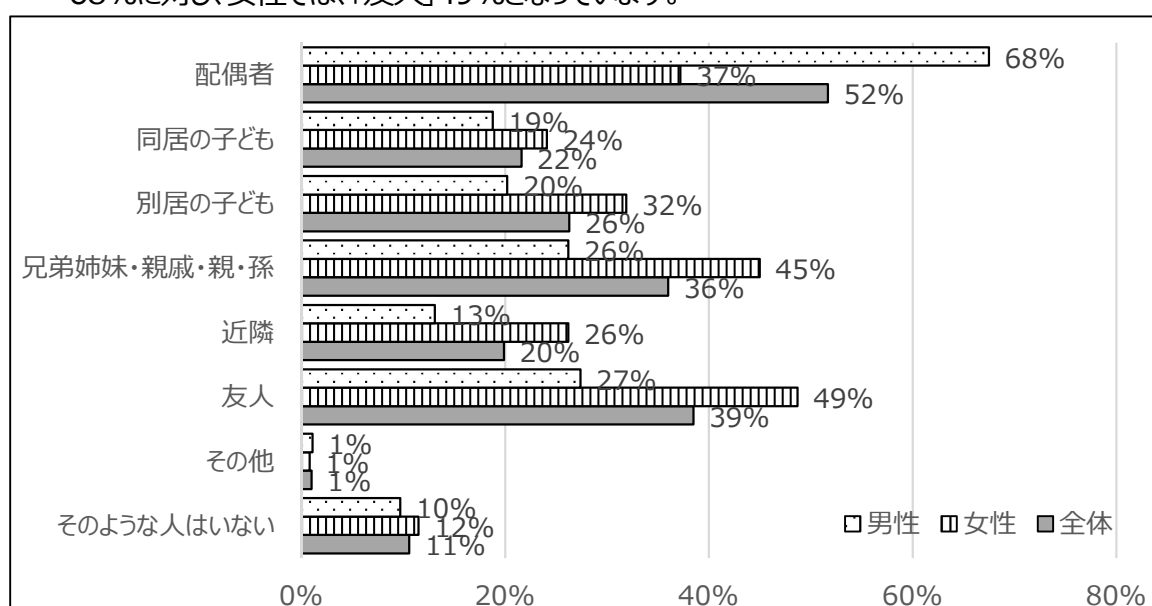
■設問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか？(いくつでも)

愚痴を聞いてくれる人について、全体では、「配偶者」54%、「友人」39%、「同居の子ども」29%が上位を占めています。男女で比較すると、割合が一番高いのは、男性が「配偶者」69%に対し、女性では、「友人」49%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」41%となっています。



■設問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか？(いくつでも)

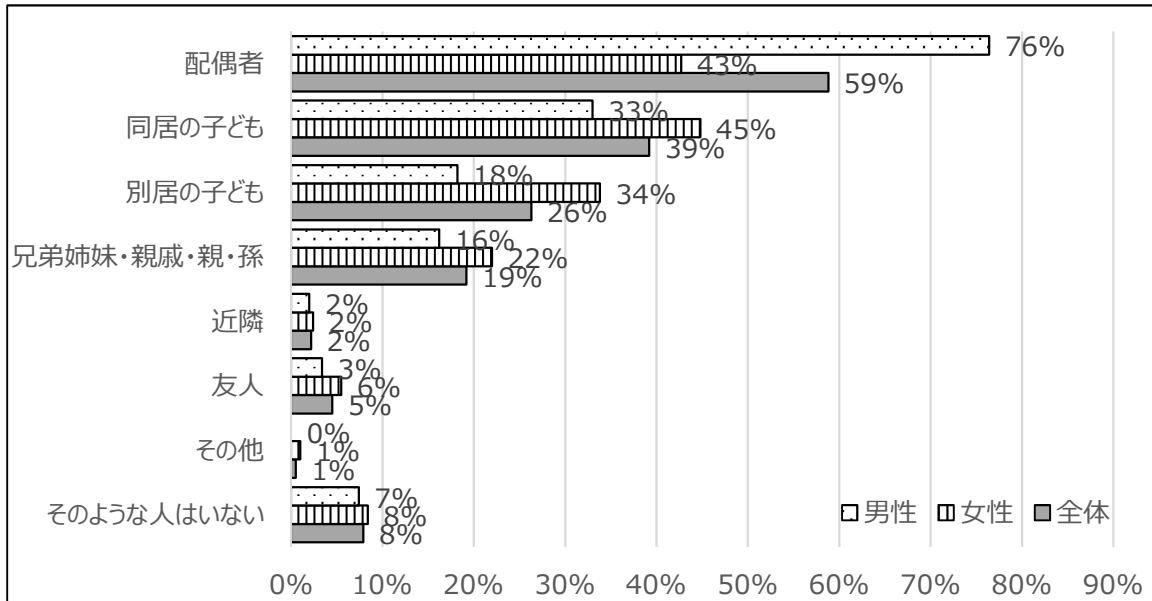
愚痴を聞いてあげる人について、全体では、「配偶者」52%、「友人」39%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」36%が上位を占めています。男女で比較すると、割合が一番高いのは、男性が「配偶者」68%に対し、女性では、「友人」49%となっています。



(2) 看病・世話

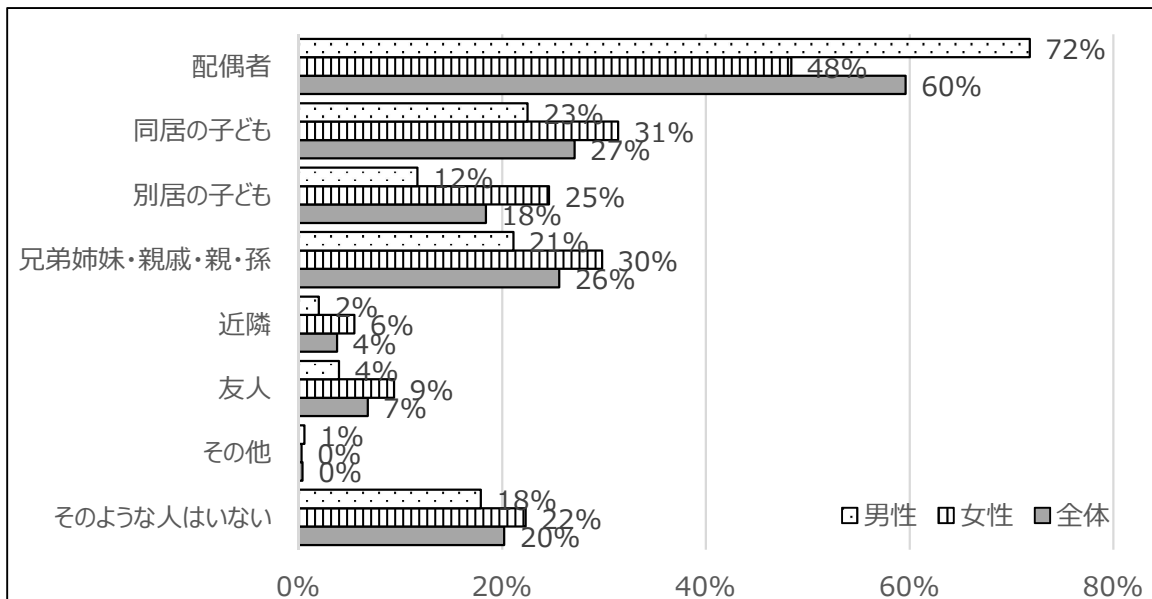
■設問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか？ (いくつでも)

看病・世話をしてくれる人について、全体では、「配偶者」59%、「同居の子ども」39%、「別居の子ども」26%が上位を占めています。男女で比較すると、割合が一番高いのは、男性が「配偶者」76%だが、女性は「同居の子ども」が45%となっています。



■設問6 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか？ (いくつでも)

看病・世話をしてあげる人について、全体では、「配偶者」60%、「同居の子ども」27%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫友人」26%が上位を占めています。男女で比較すると、割合が一番高いのは、男女とも「配偶者」だが、男性が72%と半数以上を占めるのに対し、女性では、48%となっています。

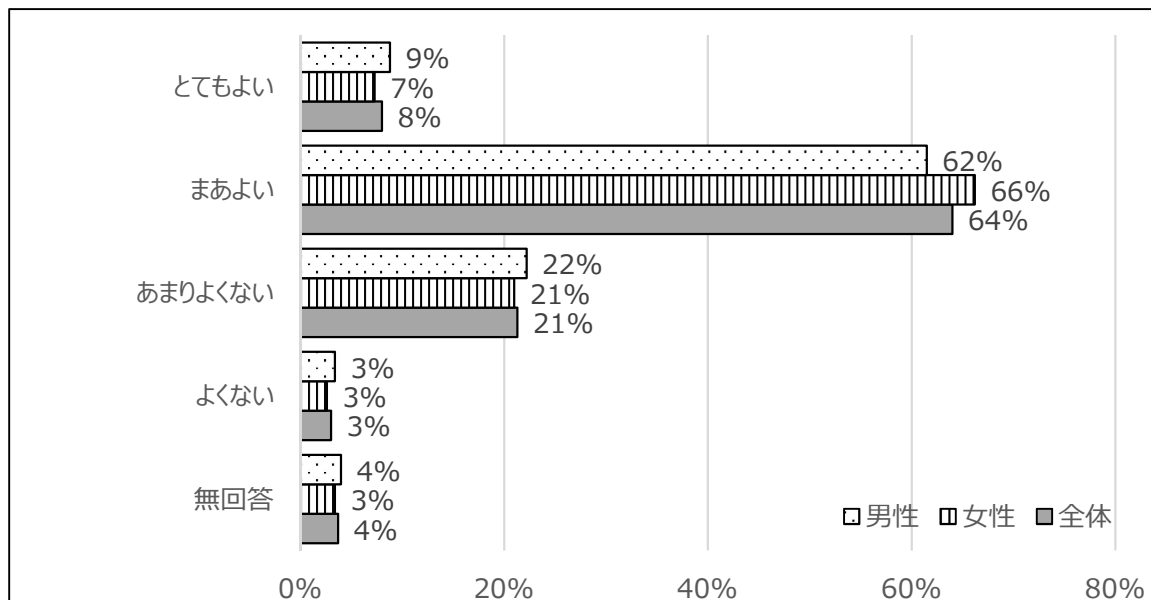


7 健康について

(1) 健康状態

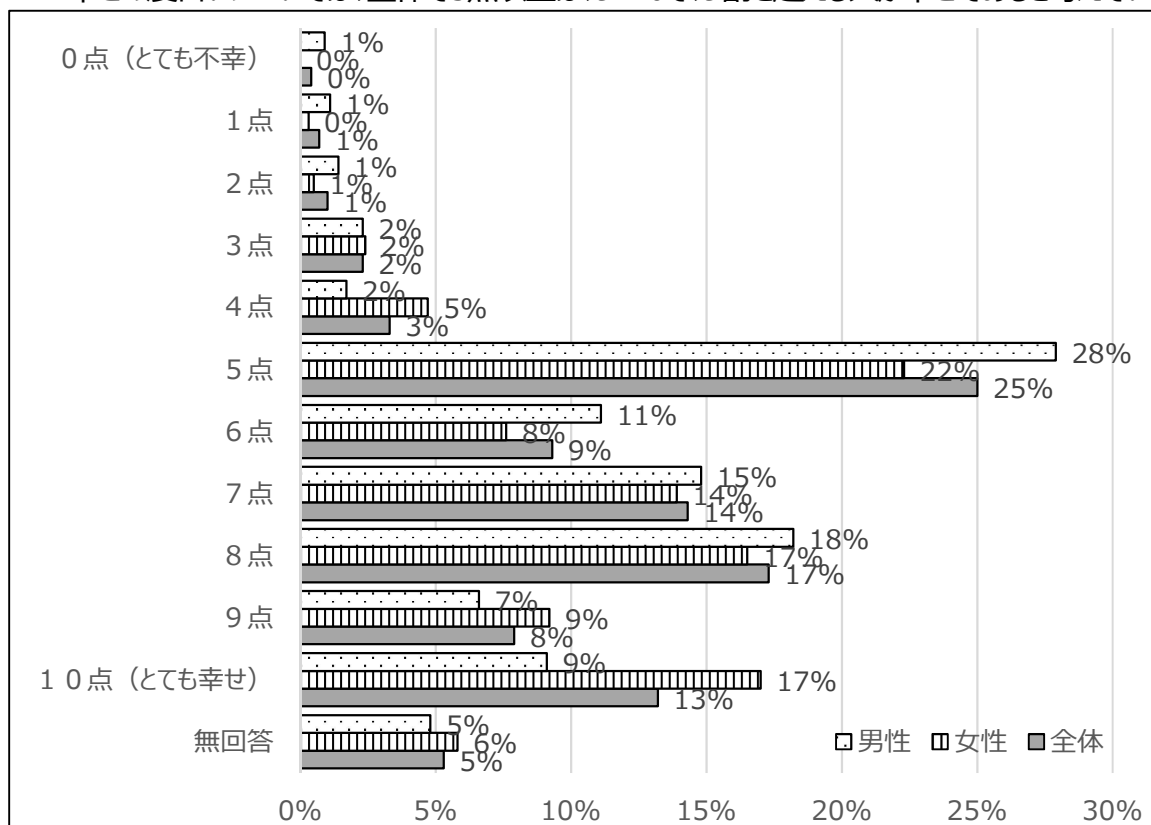
■設問7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか？

健康状態については、全体で「まあよい」が64%で、「とてもよい」と合わせると、7割を超える人が「健康である」と回答しました。



■設問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

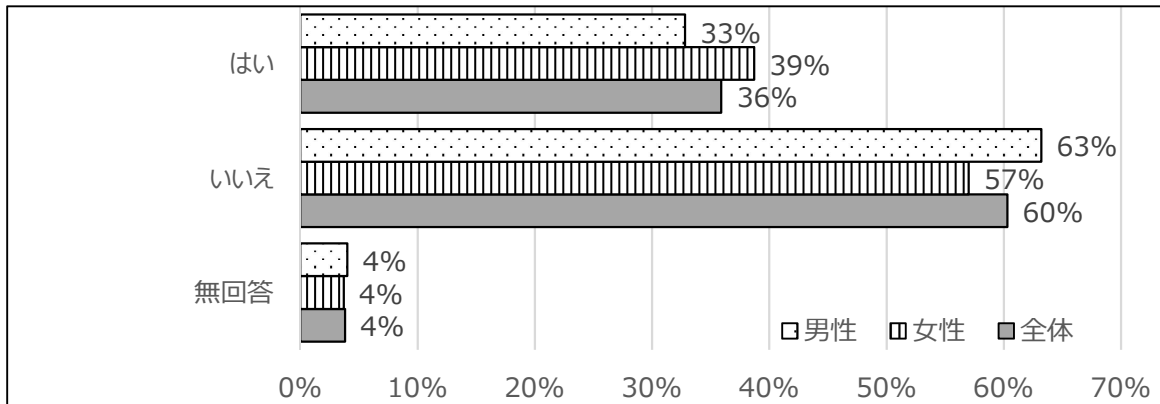
幸せの度合いについては、全体で5点以上は、91%で、9割を超える人が幸せであると考えています。



(2) 気分の状況

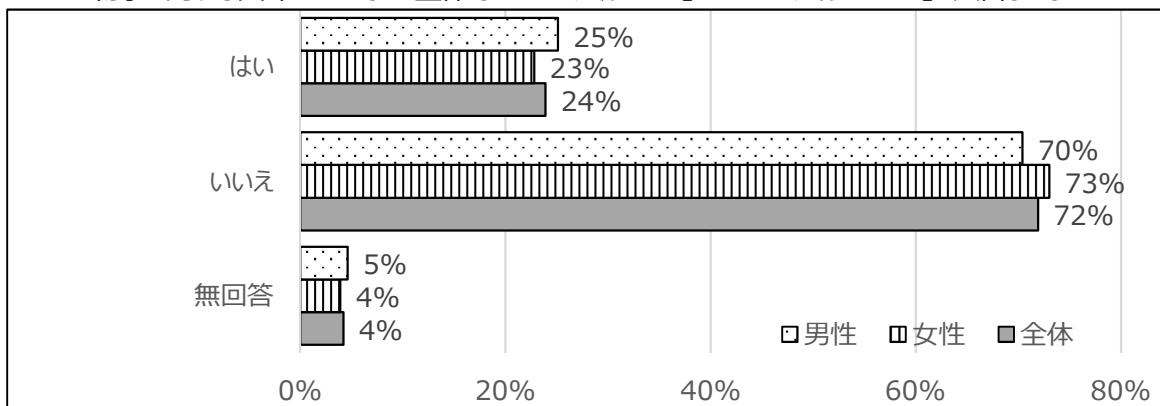
■設問7 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか？

気分の浮き沈みについては、全体で約4割の人が「はい」、約6割の人が「いいえ」と回答しました。



■設問7 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか？

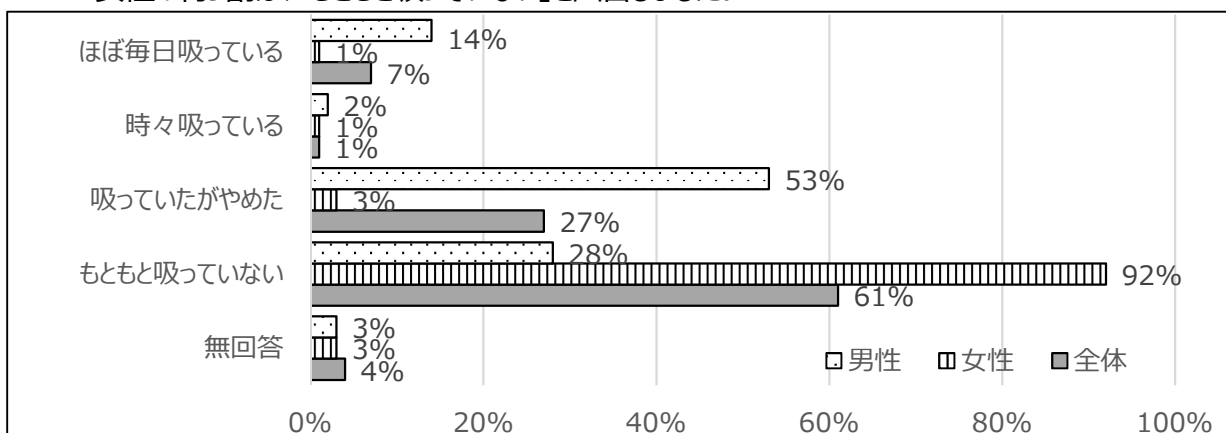
物事に対する興味については、全体で24%の人が「はい」、72%の人が「いいえ」と回答しました。



(3) 喫煙

■設問7 (5) タバコは吸っていますか？

喫煙については、全体で「吸っていたがやめた」、「もともと吸っていない」を合わせると88%(27%+61%)の人が現在は吸っていません。男性の半数は「吸っていたがやめた」と回答し、女性の約9割は、「もともと吸っていない」と回答しました。

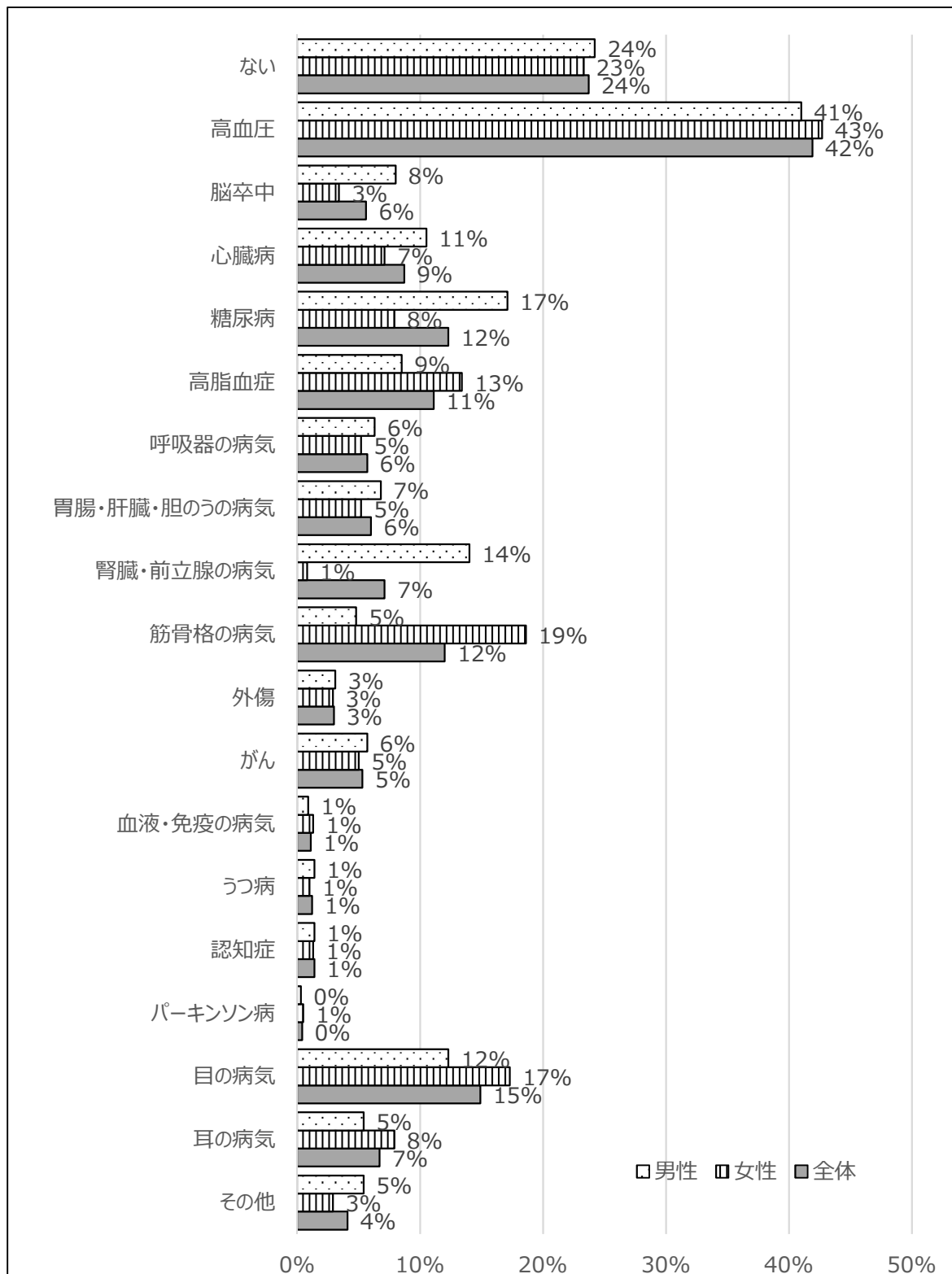


(4) 治療中・後遺症のある病気

■設問7(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか？(いくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気については、全体では「高血圧」42%、「目の病気」15%、「筋骨格の病気」12%が上位を占めています。

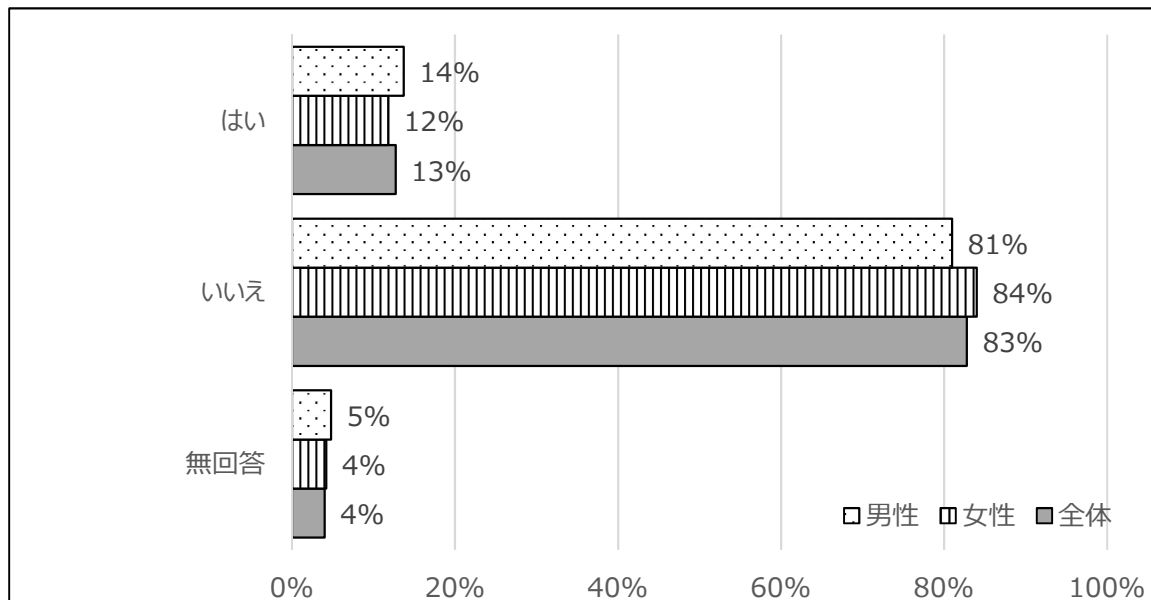
男女で比較すると、男性は、「高血圧」41%、「糖尿病」17%、「腎臓・前立腺の病気」14%、女性は、「高血圧」43%、「筋骨格の病気」19%、「目の病気」17%が上位を占めています。また、「ない」と回答した人は全体で24%となっています



8 認知症にかかる相談窓口の把握について

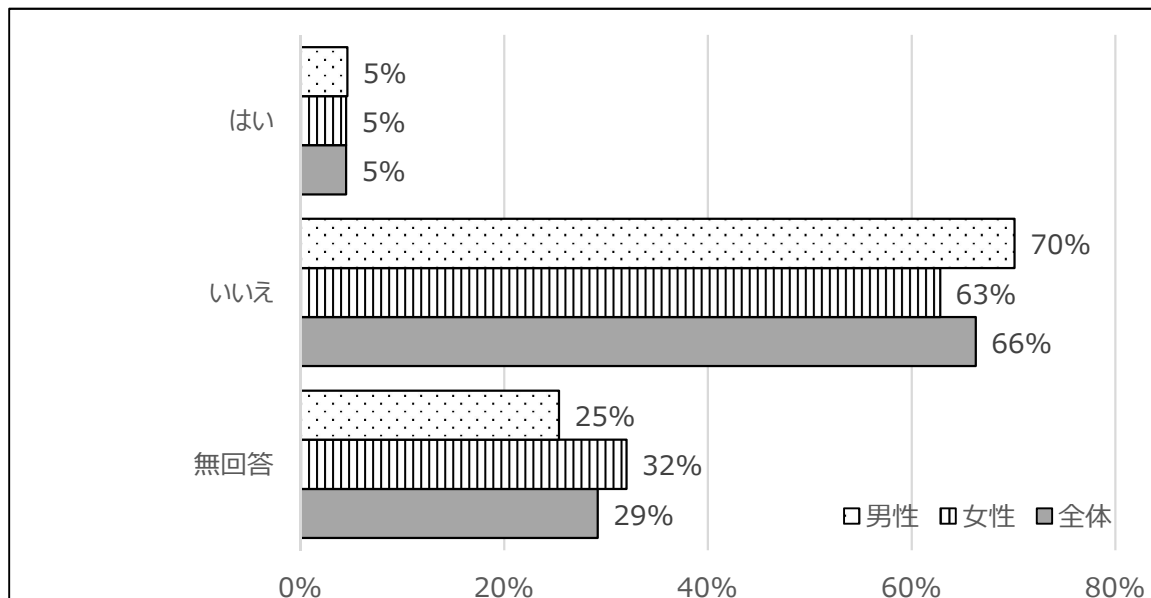
■設問8(1)認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか？

家族に認知症の症状があったり、認知症の症状が本人にあったりする方は、男性が14%、女性が12%でした。



■設問8(2)認知症に関する相談窓口を知っていますか？

認知症の総合窓口については、男性の70%、女性の63%が「認知症に関する相談窓口を知らない」と回答しました。窓口の周知が必要と考えられます。



(2) 在宅介護実態調査

I 調査の概要

1 調査対象

在宅で生活している要支援・要介護者のうち要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請をしている方

2 調査方法

認定調査員による聞き取り

(通常の要介護認定調査と併せて、町内介護事業所の認定調査員が聞き取り)

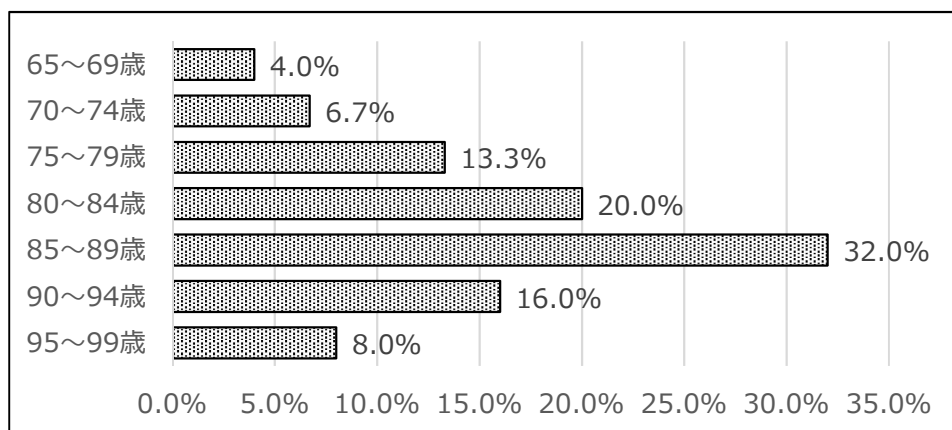
3 調査期間

令和元年11月11日から令和2年2月28日

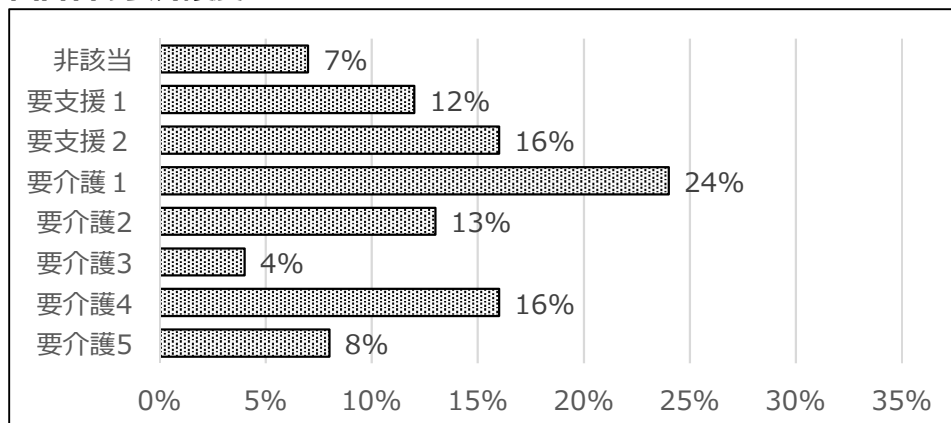
4 回収状況

対象者数	135人
回収数	75人
回収率	55.6%

回答者の年齢



回答者の要介護度

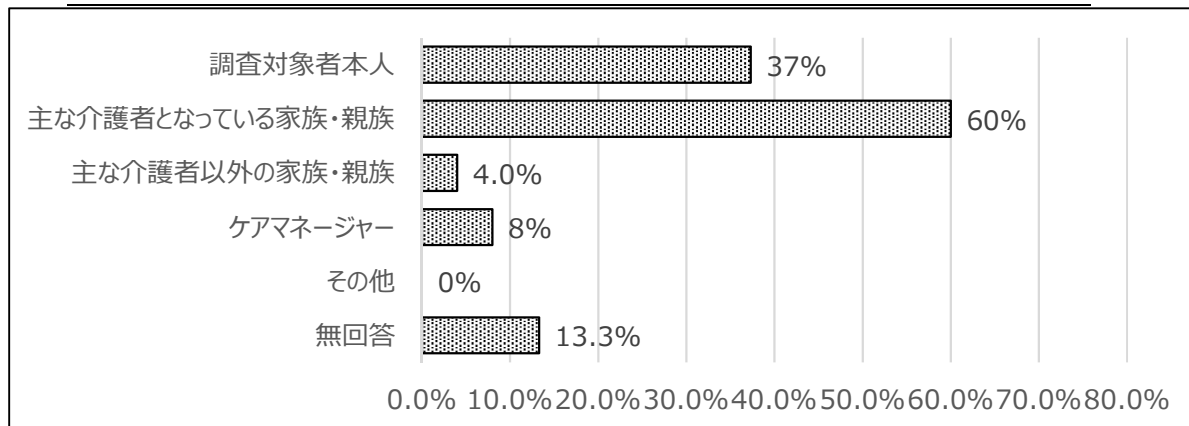


II 調査の結果

1 調査対象者ご本人について（A票）

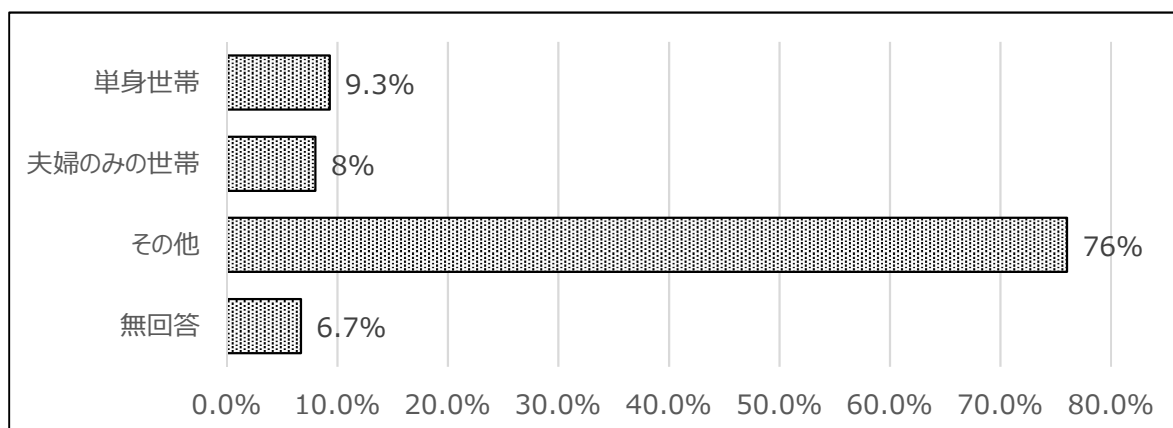
（1）回答者

■問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答可）



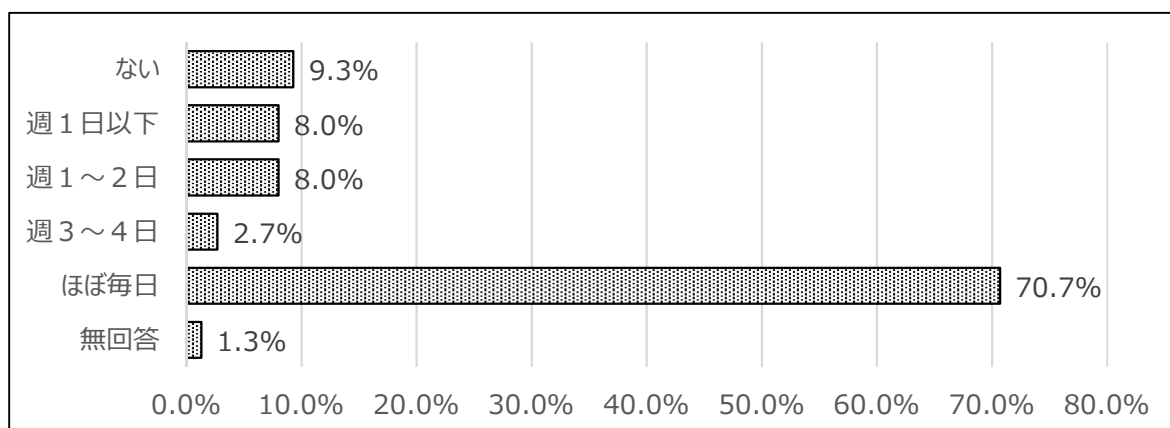
（2）世帯類型

■問2 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）



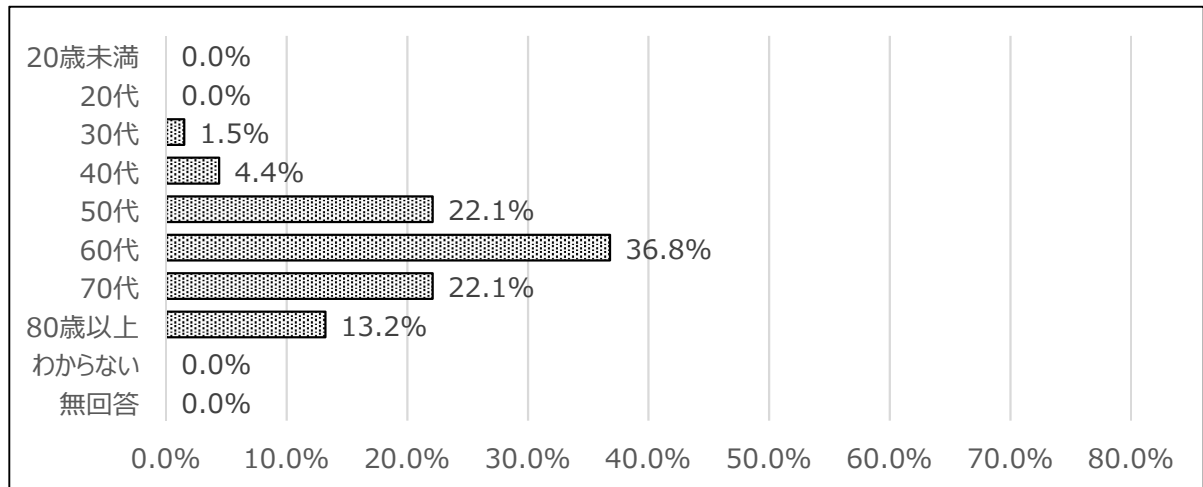
（3）介護家族の状況

■問3 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）



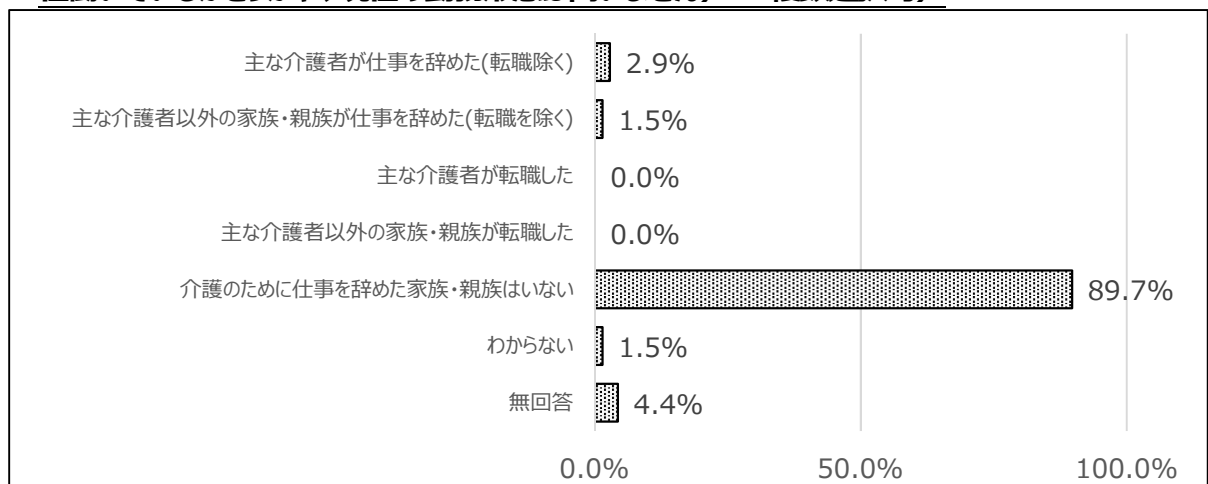
(4) 主な介護者の年齢

■問4 問3で「2.」～「5.」と回答された方にお伺いします。主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）



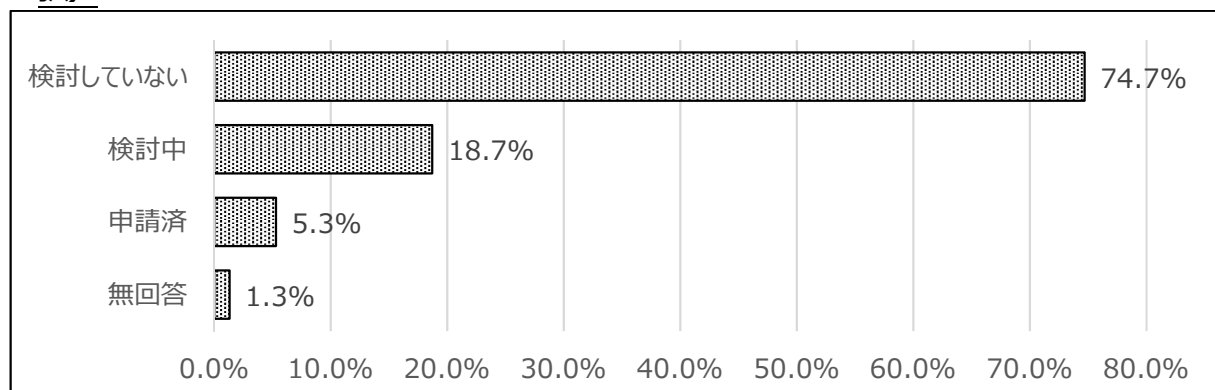
(5) 介護を理由とした退職

■問5 問3で「2.」～「5.」と回答された方にお伺いします。ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません） 複数選択可



(6) 施設等への入所・入居の検討

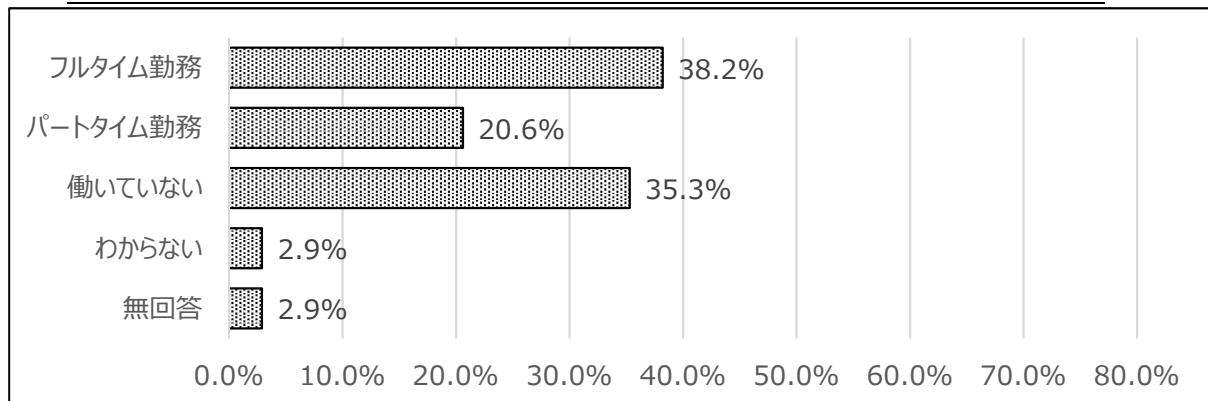
■問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）



2. 主な介護者について（B票）

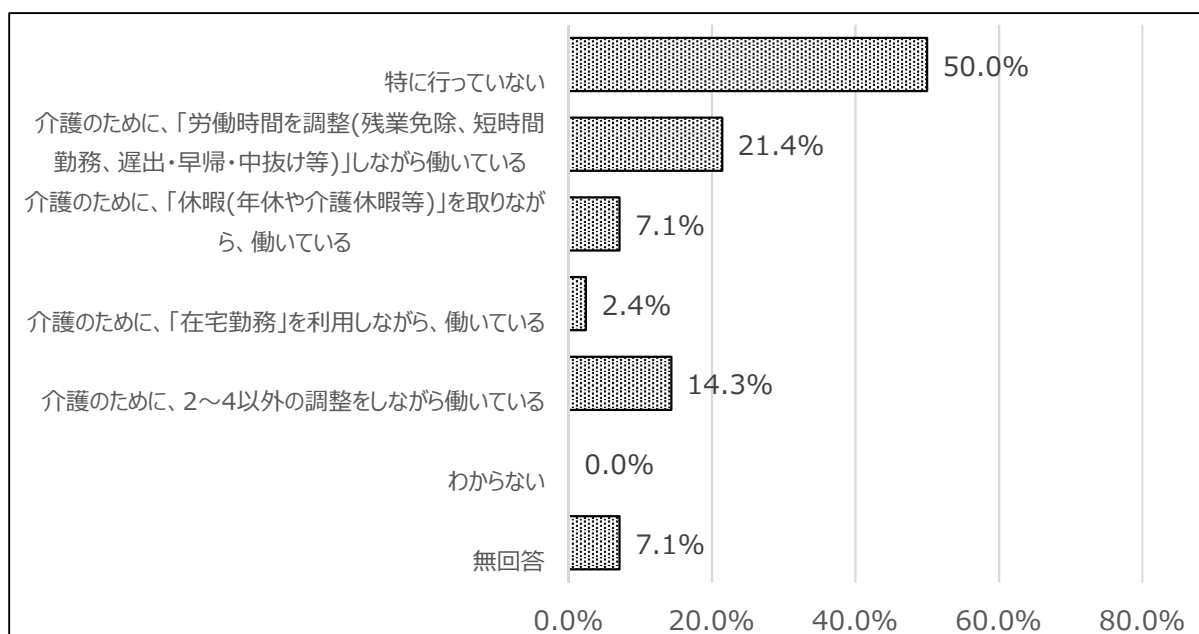
（1）主な介護者の勤務形態

■問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）



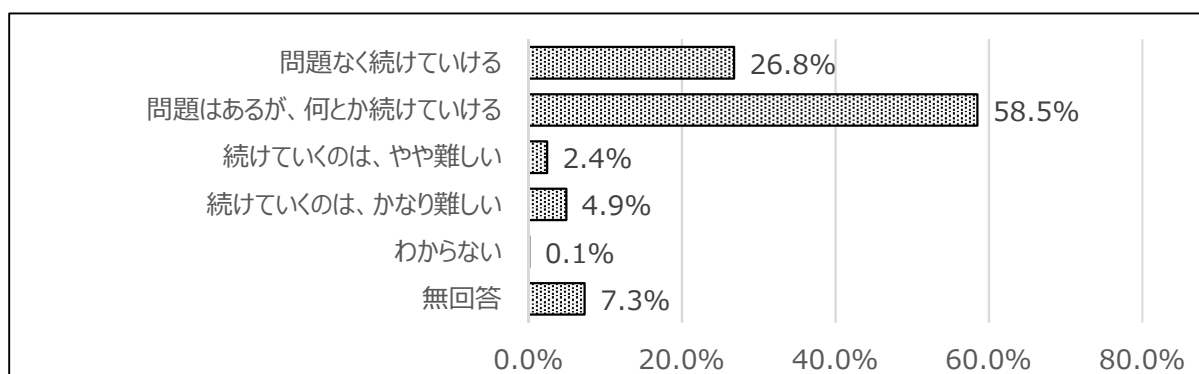
（2）働き方の調整

■問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）



（3）働きながら介護を続けられるか

■問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）



(4) 介護者の不安について

■問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、
ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

